

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
原子力科学研究所 原子炉施設 (NSRR原子炉施設)
使 用 前 検 査 成 績 書

[核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設]
[その他試験研究用等原子炉の附属施設]

原子力規制委員会

使用前検査成績書

事業者及び事業者名	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所								
検査範囲	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造：燃料棟 その他試験研究用等原子炉の附属施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造：機械棟、照射物管理棟								
検査場所	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所 原子炉施設（NSRR原子炉施設）								
申請年月日 及び申請番号	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; border: none;">平成30年9月6日</td> <td style="width: 50%; border: none;">30原機(科研)004</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">令和元年5月23日</td> <td style="border: none;">令1原機(科研)002</td> </tr> </table>			平成30年9月6日	30原機(科研)004	令和元年5月23日	令1原機(科研)002		
平成30年9月6日	30原機(科研)004								
令和元年5月23日	令1原機(科研)002								
検査項目	検査年月日	結果	摘要						
別紙-1のとおり	別紙-1のとおり	良	別紙-1のとおり						
原子力施設検査官	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; border: none;">令和元年7月23日～25日</td> <td style="width: 50%; border: none;">令和元年12月17日</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">松本 武彦</td> <td style="border: none;">松本 武彦</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">松沢 薫</td> <td style="border: none;">後藤 裕司</td> </tr> </table>			令和元年7月23日～25日	令和元年12月17日	松本 武彦	松本 武彦	松沢 薫	後藤 裕司
令和元年7月23日～25日	令和元年12月17日								
松本 武彦	松本 武彦								
松沢 薫	後藤 裕司								
検査立会責任者 (役職名)	[Redacted]								
備考									

検査項目	検査年月日	結果	摘要
○核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設（燃料棟）			
材料検査	令和元年7月23日	良	別紙-2, 3 のとおり
寸法検査	令和元年7月24日	良	別紙-4, 5 のとおり
外観検査	令和元年7月24日 元 12月17日	良	別紙-6, 7 のとおり
○その他試験研究用等原子炉の附属施設（機械棟）			
材料検査	令和元年7月23日	良	別紙-8, 9 のとおり
寸法検査	令和元年7月24日	良	別紙-10, 11 のとおり
配筋検査	令和元年7月24日	良	別紙-12, 13 のとおり
型枠検査	令和元年7月24日	良	別紙-14, 15 のとおり
外観検査	令和元年7月24日 元 12月17日	良	別紙-16, 17 のとおり
○その他試験研究用等原子炉の附属施設（照射物管理棟）			
材料検査	令和元年7月23日	良	別紙-18, 19 のとおり
寸法検査	令和元年7月24日	良	別紙-20, 21 のとおり
外観検査	令和元年7月24日 元 12月17日	良	別紙-22, 23 のとおり
○核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設並びにその他試験研究用等原子炉の附属施設			
品質管理の方法等 に関する検査	令和元年7月23日 元 12月17日	良	別紙-24, 25 のとおり

検査前確認事項

検査年月日 令和元年7月23日

検査場所 NSRR原子炉施設

検査項目：材料検査

検査範囲	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造：燃料棟		
	確認事項	確認方法	結果
	① 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	記録	良
	② 必要な図面等が準備されていることを確認する。	記録	良
<p>備考</p> <p>本検査で確認した申請者の記録等を別紙-26に示す。</p>			

材料検査記録

検査年月日 令和元年7月23日

検査場所 NSRR原子炉施設

検査範囲	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造：燃料棟		
判定基準		結果	検査方法
設工認申請書に記載された材料（使用前検査要領書の添付資料-2「表1～表5、図1.1～図1.4、図1.6及び図1.10～図1.13」を参照）が使用されていること。		良	記録
<p>備考</p> <p>本検査で確認した申請者の記録等を別紙-26に示す。</p>			

検査前確認事項検査年月日 令和元 年 7 月 24 日検査場所 NSRR 原子炉施設

検査項目：寸法検査

検査範囲	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造：燃料棟		
確認事項		確認方法	結果
① 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。		記録	良
② 必要な図面等が準備されていることを確認する。		記録	良
③ 使用する検査用計器が必要な測定範囲及び精度を有し、校正が適切に行われ、有効期限内であることを校正記録により確認する。		記録	良
備考 本検査で確認した申請者の記録等を別紙 - 26 に示す。			

寸法検査記録

検査年月日 令和元年 7 月 24 日

検査場所 NSRR 原子炉施設

検査範囲	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造：燃料棟			
判定基準		結果	検査方法	
① 使用する材料の主要寸法が、設工認申請書（使用前検査要領書の添付資料-2「表2～表4、図1.1～図1.4、図1.6及び図1.10～図1.13」を参照）に記載された寸法であること。		良	記録	
② あと施工アンカーボルトの埋込み長さが、設工認申請書（使用前検査要領書の添付資料-2「図1.1及び図1.10」を参照）に記載された寸法であること。		良	記録	
備考				
本検査で確認した申請者の記録等を別紙-26に示す。				
・あと施工アンカーボルトの埋込み長さ				
部位		あと施工 アンカーボルト	埋め込み長さ	備考
柱脚部補強	H部	4-M16	128(mm)以上	
	I部	4-M24	192(mm)以上	

検査前確認事項

12 17
 検査年月日 令和元年 7 月 24 日
 検査場所 NSRR 原子炉施設

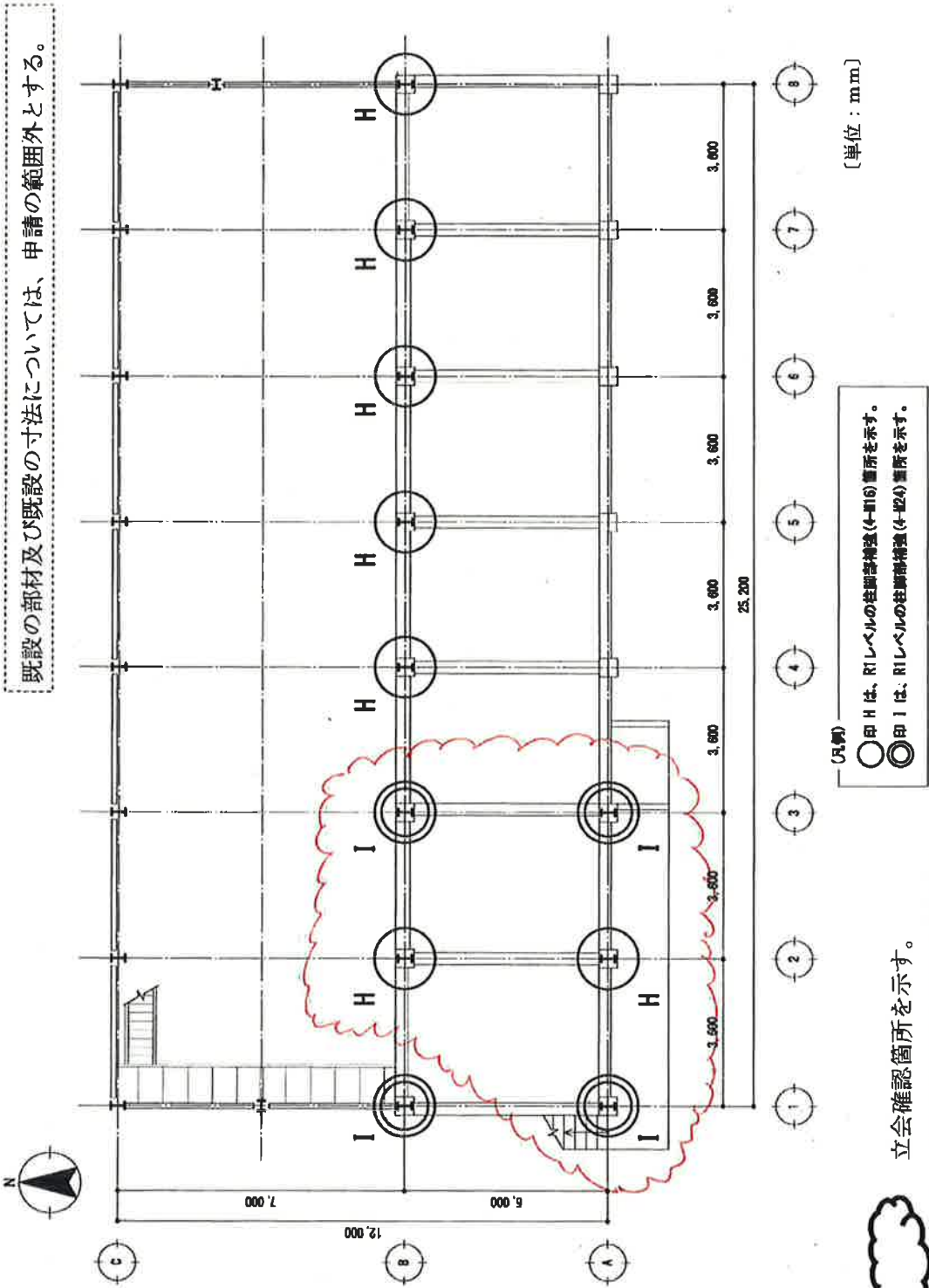
検査項目：外観検査

検査範囲	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造：燃料棟		
確認事項		確認方法	結果
①	申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	記録	良
②	必要な図面等が準備されていることを確認する。	記録	良
備考 本検査で確認した申請者の記録等を別紙-26に示す。			

外観検査記録

12 17
 令和元年 7 月 24 日
 検査年月日
 検査場所 NSRR 原子炉施設

検査範囲	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造：燃料棟		
	判定基準	結果	検査方法
	① 鉄骨、ターンバックル、あと施工アンカーボルト及び高力ボルトが、設工認申請書（使用前検査要領書の添付資料-2「図 1.1～図 1.4、図 1.6 及び図 1.10～図 1.13」を参照）どおりに配置されていること。	良	立会 / 記録
	② 鉄骨及びターンバックルの表面（使用前検査要領書の添付資料-2「図 1.1～図 1.4、図 1.6 及び図 1.10～図 1.13」を参照）に機能に影響を及ぼす有害な傷及び破損がないこと。	良	立会 / 記録
	③ 現場溶接部（使用前検査要領書の添付資料-2「図 1.1～図 1.14」を参照）に割れ等の有害な欠陥がないこと。	良	立会 / 記録
<p>備考</p> <p>立会確認箇所を添付図-1、本検査で確認した申請者の記録等を別紙-26に示す。</p>			

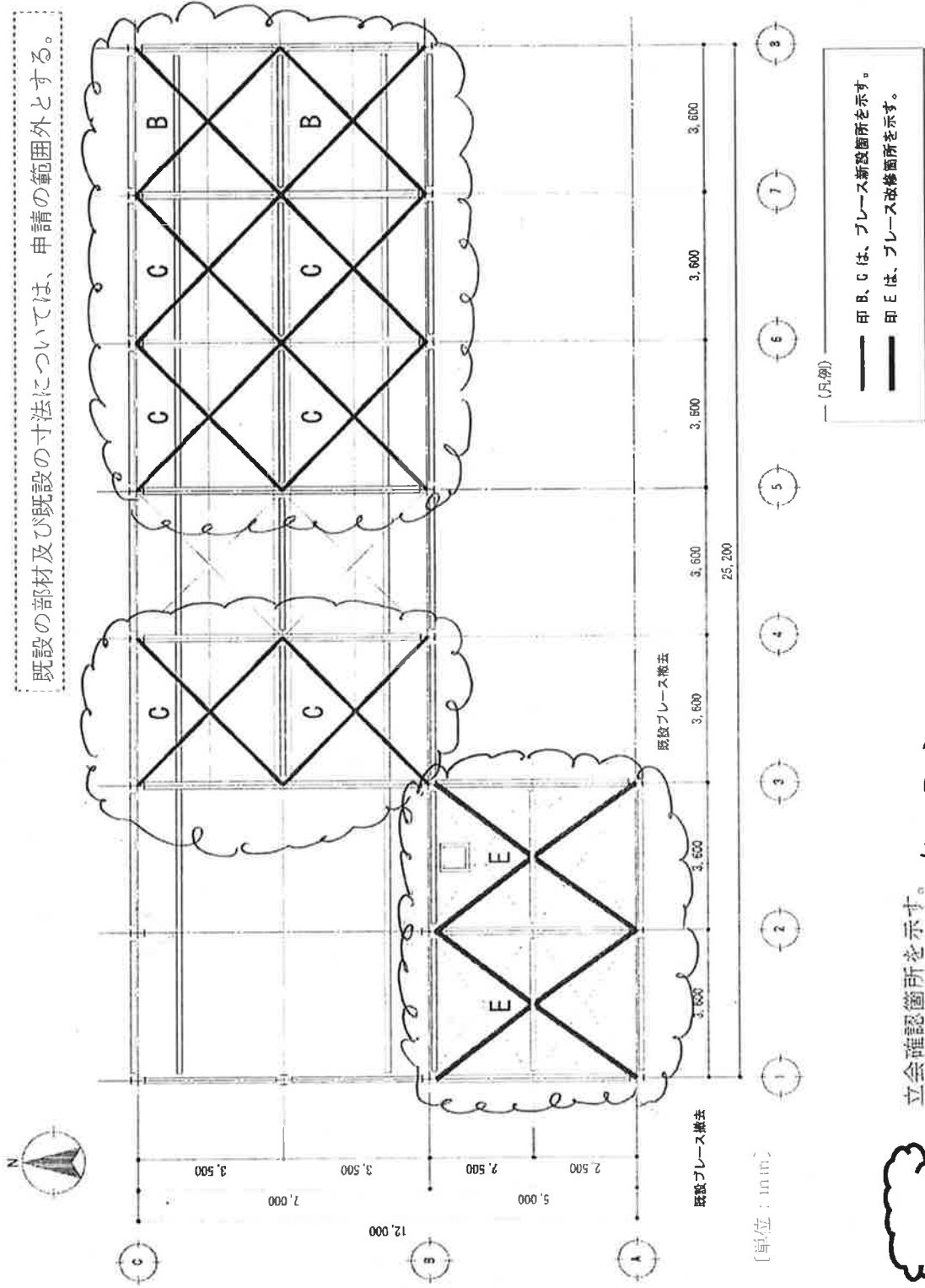


立会確認箇所を示す。



※赤色は令和元年12月17日立会確認箇所を示す。

図 1.1 燃料棟 屋根 (RC 部) 伏図 (R1 レベル)



立会確認箇所を示す。
(令和元年7月24日立会確認箇所を示す。)

図 1.2 燃料棟 屋根伏図 (R2 レベル)

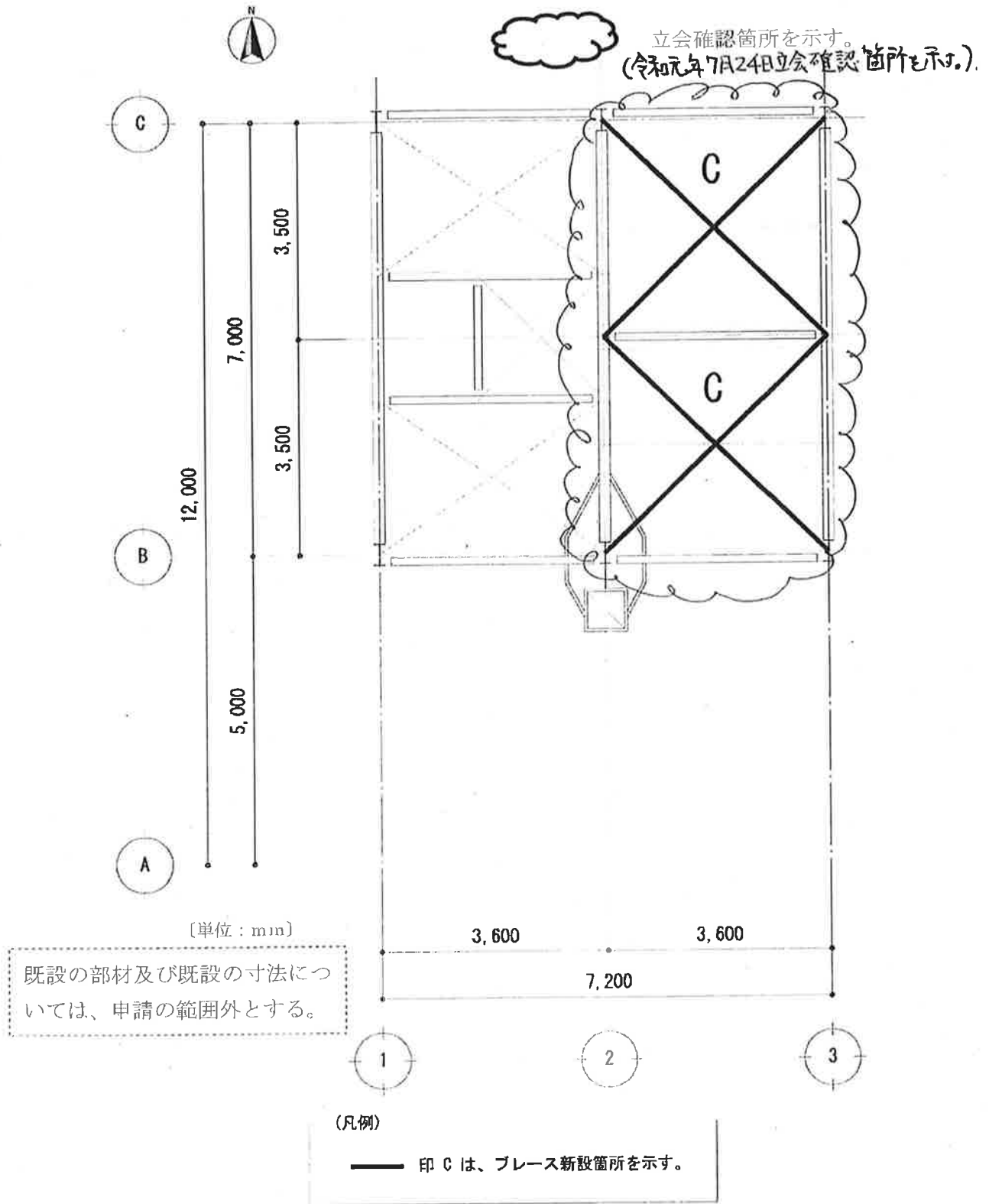
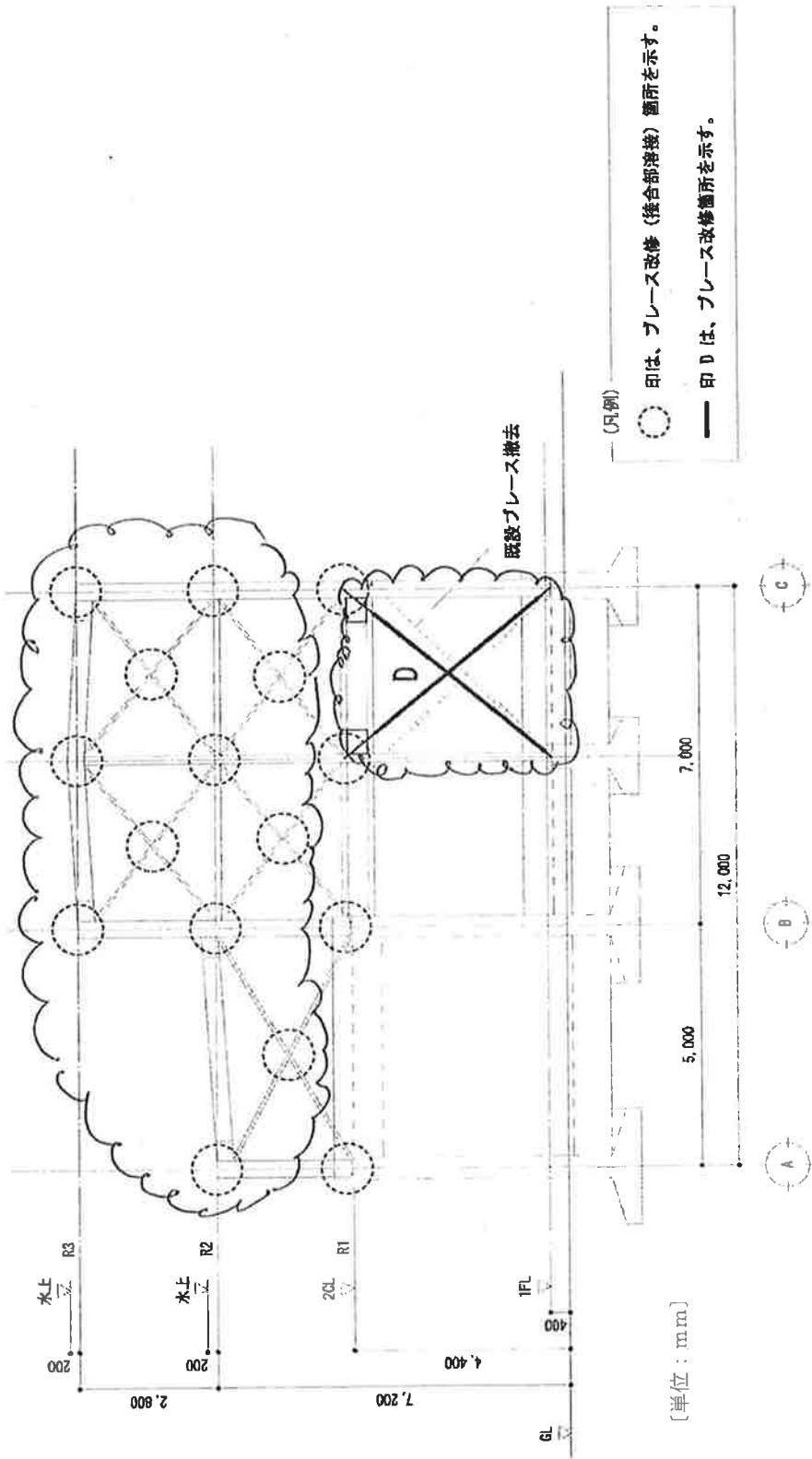


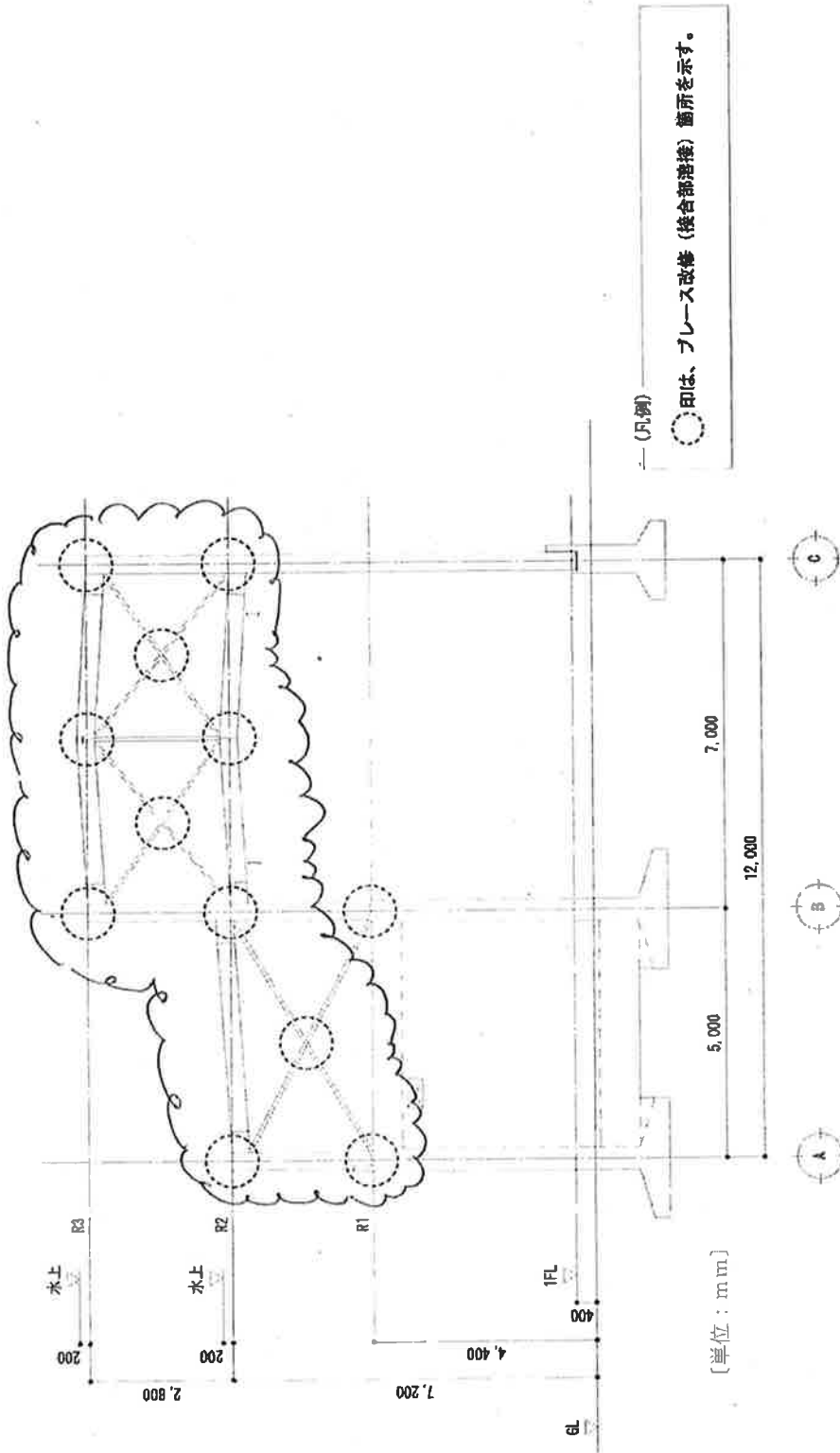
図 1.3 燃料棟 屋根伏図 (R3 レベル)

既設の部材及び既設の寸法については、申請の範囲外とする。



立会確認箇所を示す。
 (令和元年7月24日立会確認箇所を示す)
 図 1.4 燃料棟 1 通軸組図

既設の部材及び既設の寸法については、申請の範囲外とする。



既設の部材及び既設の寸法については、申請の範囲外とする。

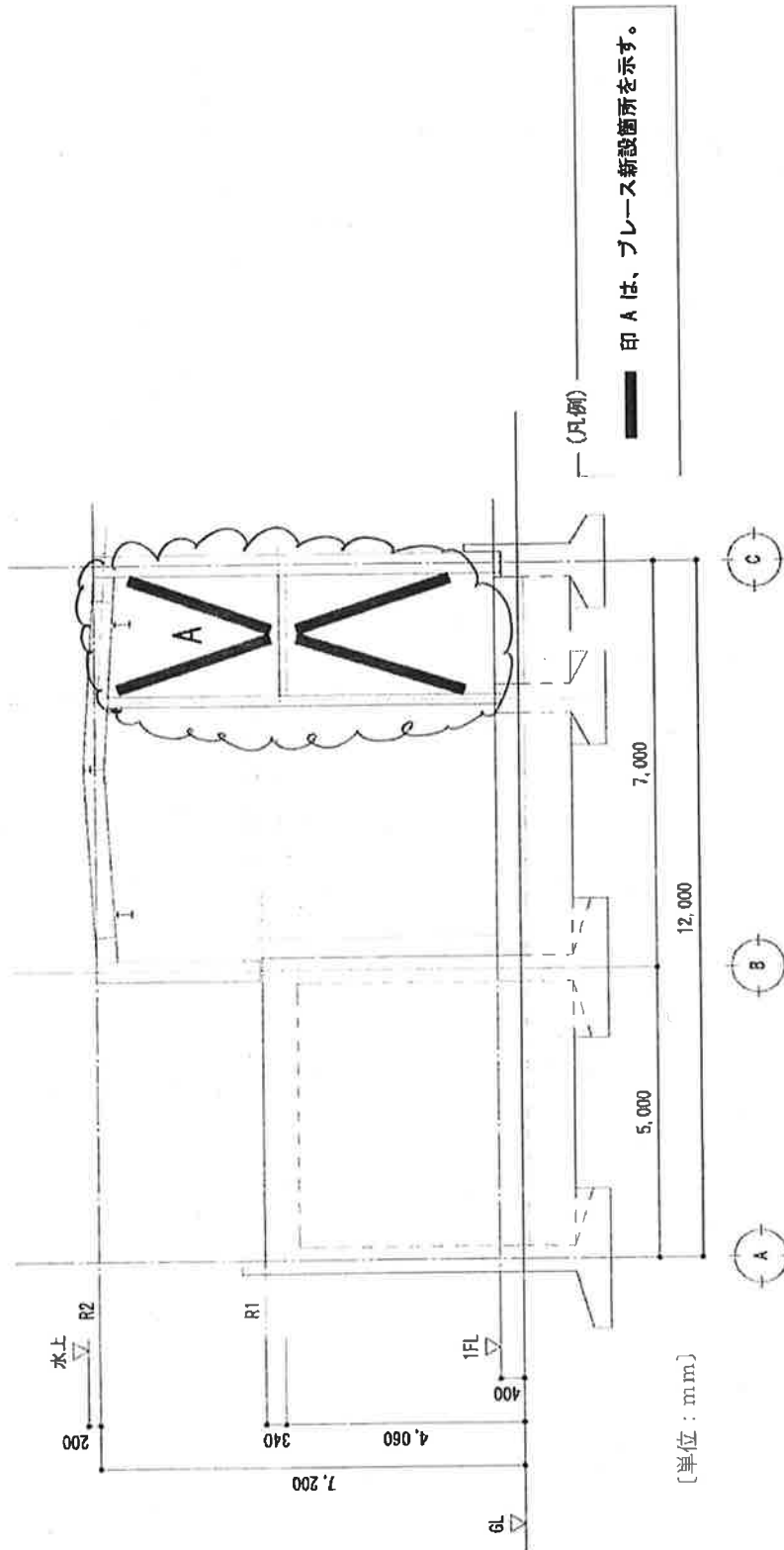
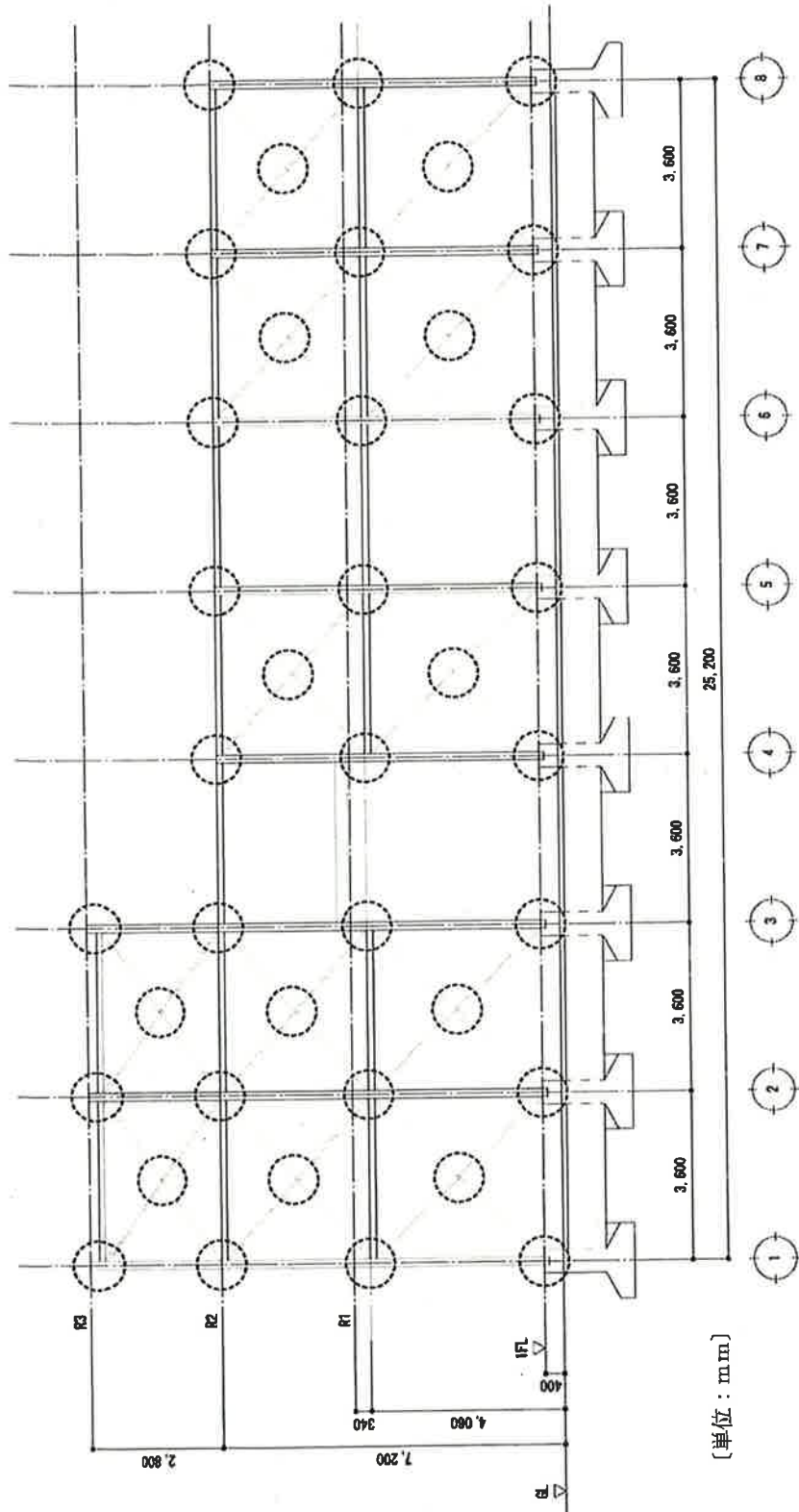


図 1.6 燃料棟 8 通軸組図



立会確認箇所を示す。
(令和元年7月24日立会確認箇所を示す。)

既設の部材及び既設の寸法については、申請の範囲外とする。



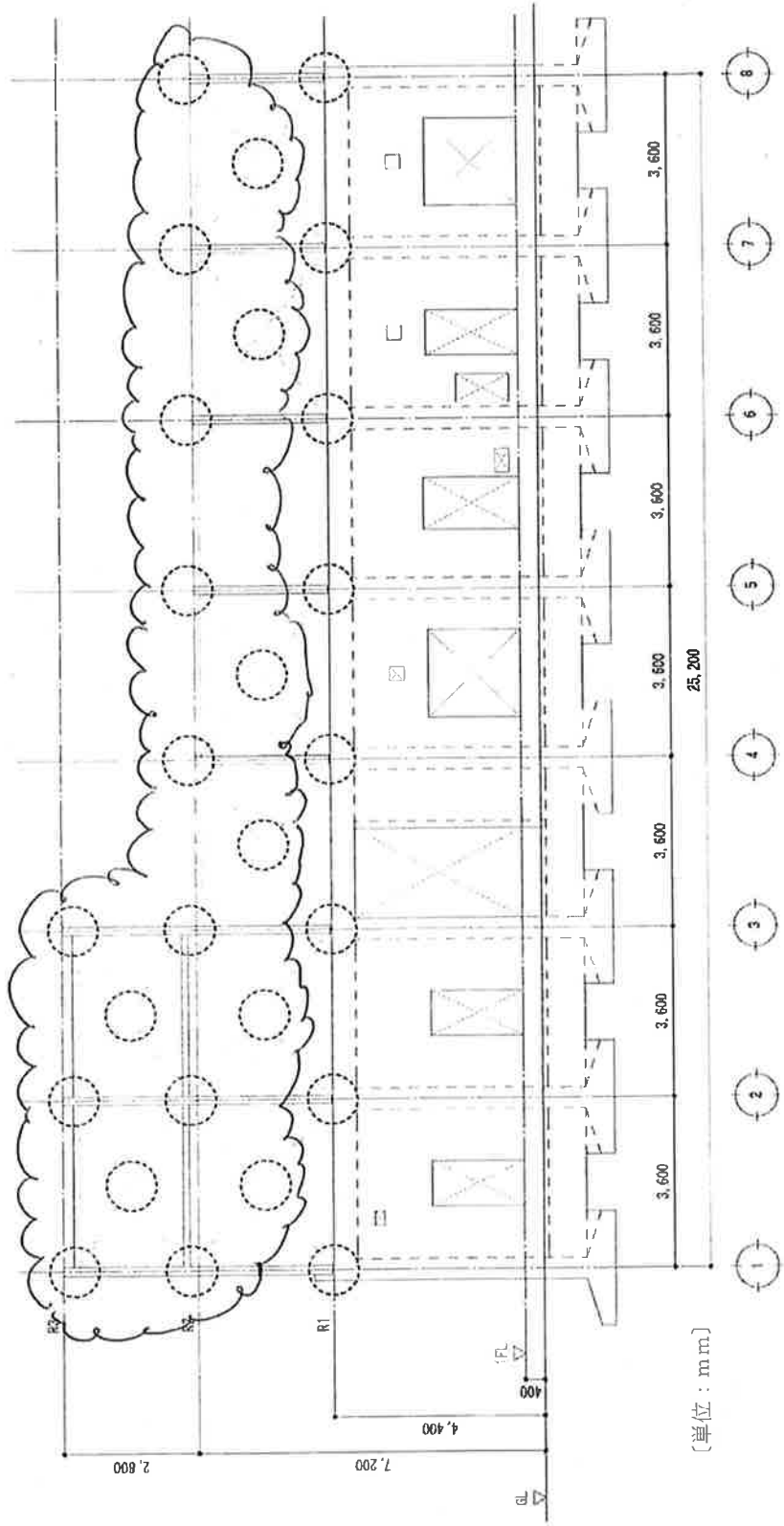
(凡例)
 ○印は、プレス改修(接合部溶接)箇所を示す。

図 1.7 燃料棟 C通軸組図

立会確認箇所を示す。
 (令和元年7月24日立会確認箇所を示す)
 ※赤色は令和元年12月17日立会確認箇所を示す。



既設の部材及び既設の寸法については、申請の範囲外とする。



(凡例)
 ○印は、ブレース改修 (接合部増強) 箇所を示す。

図 1.8 燃料棟 B 通軸組図

立会確認箇所を示す。
 (令和元年7月24日立会確認箇所を示す。)



既設の部材及び既設の寸法については、申請の範囲外とする。

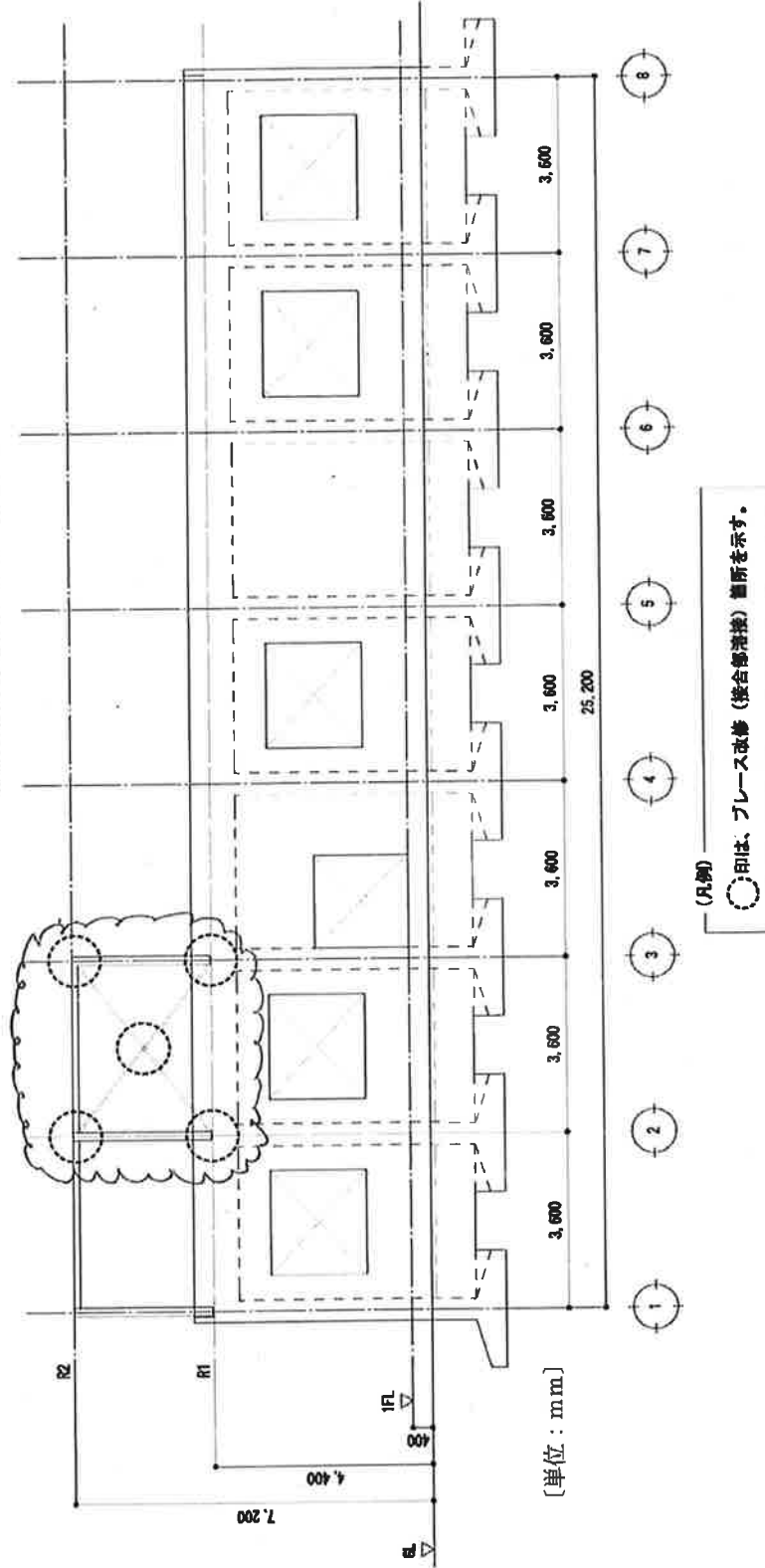


図 1.9 燃料棟 A 通軸組図

立会確認箇所を示す。

(令和元年7月24日立会確認箇所を示す。)



検査前確認事項

検査年月日 令和元年 7月 23日

検査場所 NSRR 原子炉施設

検査項目：材料検査

検査範囲	その他試験研究用等原子炉の附属施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造：機械棟		
	確認事項	確認方法	結果
	① 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	記録	良
	② 必要な図面等が準備されていることを確認する。	記録	良
<p>備考</p> <p>本検査で確認した申請者の記録等を別紙-26に示す。</p>			

材料検査記録

検査年月日 令和元年 7月23日

検査場所 NSRR 原子炉施設

検査範囲	その他試験研究用等原子炉の附属施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造：機械棟		
判定基準		結果	検査方法
設工認申請書に記載された材料（使用前検査要領書の添付資料-2「表1～表5、図2.1、図2.2、図2.4～図2.10及び図2.12～図2.14」を参照）が使用されていること。		良	記録
備考 本検査で確認した申請者の記録等を別紙-26に示す。			

検査前確認事項検査年月日 令和元年 7月 24日検査場所 NSRR原子炉施設検査項目：寸法検査

検査範囲	その他試験研究用等原子炉の附属施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造：機械棟		
	確認事項	確認方法	結果
①	申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	記録	良
②	必要な図面等が準備されていることを確認する。	記録	良
③	使用する検査用計器が必要な測定範囲及び精度を有し、校正が適切に行われ、有効期限内であることを校正記録により確認する。	記録	良
備考 本検査で確認した申請者の記録等を別紙-26に示す。			

寸法検査記録

検査年月日 令和元年7月24日

検査場所 NSRR原子炉施設

検査範囲	その他試験研究用等原子炉の附属施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造：機械棟			
判定基準		結果	検査方法	
① 使用する材料の主要寸法が、設工認申請書（使用前検査要領書の添付資料-2「表2～表4、図2.1、図2.2、図2.4～図2.10及び図2.12～図2.14」を参照）に記載された寸法であること。		良	記録	
② あと施工アンカーボルト、あと施工アンカー筋及び頭付きスタッドの埋込み長さが、設工認申請書（使用前検査要領書の添付資料-2「図2.1、図2.7及び図2.13」を参照）に記載された寸法を確保していること。		良	記録	
備考				
本検査で確認した申請者の記録等を別紙-26に示す。				
・あと施工アンカー筋の埋込み長さ				
部位		あと施工アンカー筋	埋め込み長さ	備考
柱脚部補強	I部	D10@100	80(mm)以上	帯筋
		8-D19	152(mm)以上	
			209(mm)以上	端部
・頭付きスタッドの埋込み長さ				
部位		頭付きスタッド	埋め込み長さ	備考
柱脚部補強	I部	8-φ19	165(mm)以上	
・あと施工アンカーボルトの埋込み長さ				
部位		あと施工アンカーボルト	埋め込み長さ	備考
柱脚部補強	H部	4-M20	220(mm)以上	

検査前確認事項検査年月日 令和元年 7 月 24 日検査場所 NSRR 原子炉施設検査項目：配筋検査

検査範囲	その他試験研究用等原子炉の附属施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造：機械棟		
	確認事項	確認方法	結果
①	申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	記録	良
②	必要な図面等が準備されていることを確認する。	記録	良
③	使用する検査用計器が必要な測定範囲及び精度を有し、校正が適切に行われ、有効期限内であることを校正記録により確認する。	記録	良
<p>備考</p> <p>本検査で確認した申請者の記録等を別紙-26に示す。</p>			

配筋検査記録

検査年月日 令和元年 7 月 24 日

検査場所 NSRR 原子炉施設

検査範囲	その他試験研究用等原子炉の附属施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造：機械棟																				
	判定基準	結果	検査方法																		
	① 鉄筋及びあと施工アンカー筋の呼び径、本数又は間隔が、設工認申請書（使用前検査要領書の添付資料-2「図 2.1 及び図 2.7」を参照）のとおり施工されていること。	良	記録																		
	② 鉄筋の継手長さが設工認申請書（使用前検査要領書の添付資料-2「表 6、図 2.1 及び図 2.7」を参照）のとおり施工されていること。また、フレア溶接部に割れ等の有害な欠陥がないこと。	良	記録																		
	③ 鉄筋と型枠とのかぶり厚さが、設工認申請書（使用前検査要領書の添付資料-2「表 7、図 2.1 及び図 2.7」を参照）のとおり施工されていること。	良	記録																		
備考	本検査で確認した申請者の記録等を別紙-26に示す。																				
	・鉄筋の継手の長さ																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>鉄筋の種類</th> <th colspan="2">継手の長さ</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">SD295A</td> <td colspan="2">35d 又は 25d フック付き</td> <td>JASS 5N</td> </tr> <tr> <td colspan="2">フレア溶接の場合片面 10d 又は両面 5d</td> <td>建築改修工事監理指針</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">SD345</td> <td colspan="2">40d 又は 30d フック付き</td> <td>JASS 5N</td> </tr> <tr> <td colspan="2">フレア溶接の場合片面 10d 又は両面 5d</td> <td>建築改修工事監理指針</td> </tr> </tbody> </table>			鉄筋の種類	継手の長さ		備考	SD295A	35d 又は 25d フック付き		JASS 5N	フレア溶接の場合片面 10d 又は両面 5d		建築改修工事監理指針	SD345	40d 又は 30d フック付き		JASS 5N	フレア溶接の場合片面 10d 又は両面 5d		建築改修工事監理指針
鉄筋の種類	継手の長さ		備考																		
SD295A	35d 又は 25d フック付き		JASS 5N																		
	フレア溶接の場合片面 10d 又は両面 5d		建築改修工事監理指針																		
SD345	40d 又は 30d フック付き		JASS 5N																		
	フレア溶接の場合片面 10d 又は両面 5d		建築改修工事監理指針																		
	・鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さ																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>部位</th> <th colspan="2">かぶり厚さ</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">柱</td> <td rowspan="2">土に接しない</td> <td>屋内</td> <td>40mm</td> <td rowspan="3">JASS 5N</td> </tr> <tr> <td>屋外</td> <td>50mm</td> </tr> <tr> <td>土に接する</td> <td colspan="2">50mm</td> </tr> </tbody> </table>			部位	かぶり厚さ		備考	柱	土に接しない	屋内	40mm	JASS 5N	屋外	50mm	土に接する	50mm					
部位	かぶり厚さ		備考																		
柱	土に接しない	屋内	40mm	JASS 5N																	
		屋外	50mm																		
	土に接する	50mm																			

検査前確認事項検査年月日 令和元年7月24日検査場所 NSRR原子炉施設検査項目：型枠検査

検査範囲	その他試験研究用等原子炉の附属施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造：機械棟		
確認事項		確認方法	結果
① 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。		記録	良
② 必要な図面等が準備されていることを確認する。		記録	良
③ 使用する検査用計器が必要な測定範囲及び精度を有し、校正が適切に行われ、有効期限内であることを校正記録により確認する。		記録	良
備考 本検査で確認した申請者の記録等を別紙-26に示す。			

型枠検査記録

検査年月日 令和元年 7 月 24 日

検査場所 NSRR 原子炉施設

検査範囲	その他試験研究用等原子炉の附属施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造：機械棟								
判定基準		結果	検査方法						
型枠の寸法が、設工認申請書（使用前検査要領書の添付資料-2「表8、図2.1及び図2.7」を参照）のとおり施工されていること。		良	記録						
備考 本検査で確認した申請者の記録等を別紙-26に示す。									
・型枠の寸法許容差									
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">項目</th> <th style="width: 30%;">許容差(mm)</th> <th style="width: 40%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>柱脚の断面寸法</td> <td style="text-align: center;">-5 +15</td> <td style="text-align: center;">JASS 5N</td> </tr> </tbody> </table>				項目	許容差(mm)	備考	柱脚の断面寸法	-5 +15	JASS 5N
項目	許容差(mm)	備考							
柱脚の断面寸法	-5 +15	JASS 5N							

検査前確認事項

12 17

検査年月日 令和元年 7 月 24 日

検査場所 NSRR 原子炉施設

検査項目：外観検査

検査範囲	その他試験研究用等原子炉の附属施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造：機械棟		
	確認事項	確認方法	結果
	① 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	記録	良
	② 必要な図面等が準備されていることを確認する。	記録	良
備考	本検査で確認した申請者の記録等を別紙-26に示す。		

外観検査記録

12 17
24
検査年月日 令和元年 7 月 25 日
検査場所 N S R R 原子炉施設

検査範囲	その他試験研究用等原子炉の附属施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造：機械棟		
	判定基準	結果	検査方法
	① 鉄骨、ターンバックル、あと施工アンカーボルト、頭付きスタッド及び高力ボルトが、設工認申請書（使用前検査要領書の添付資料-2「図 2.1～図 2.10 及び図 2.12～図 2.14」を参照）どおりに配置されていること。	良	立会 / 記録
	② 鉄骨及びターンバックルの表面（使用前検査要領書の添付資料-2「図 2.1～図 2.10 及び図 2.12～図 2.14」を参照）に機能に影響を及ぼす有害な傷及び破損がないこと。	良	立会 / 記録
	③ 現場溶接部（添付資料-2「図 2.1～図 2.14」を参照）に割れ等の有害な欠陥がないこと。	良	立会 / 記録
<p>備考</p> <p>立会確認箇所を添付図-2、本検査で確認した申請者の記録等を別紙-26に示す。</p>			

既設の部材及び既設の寸法については、申請の範囲外とする。

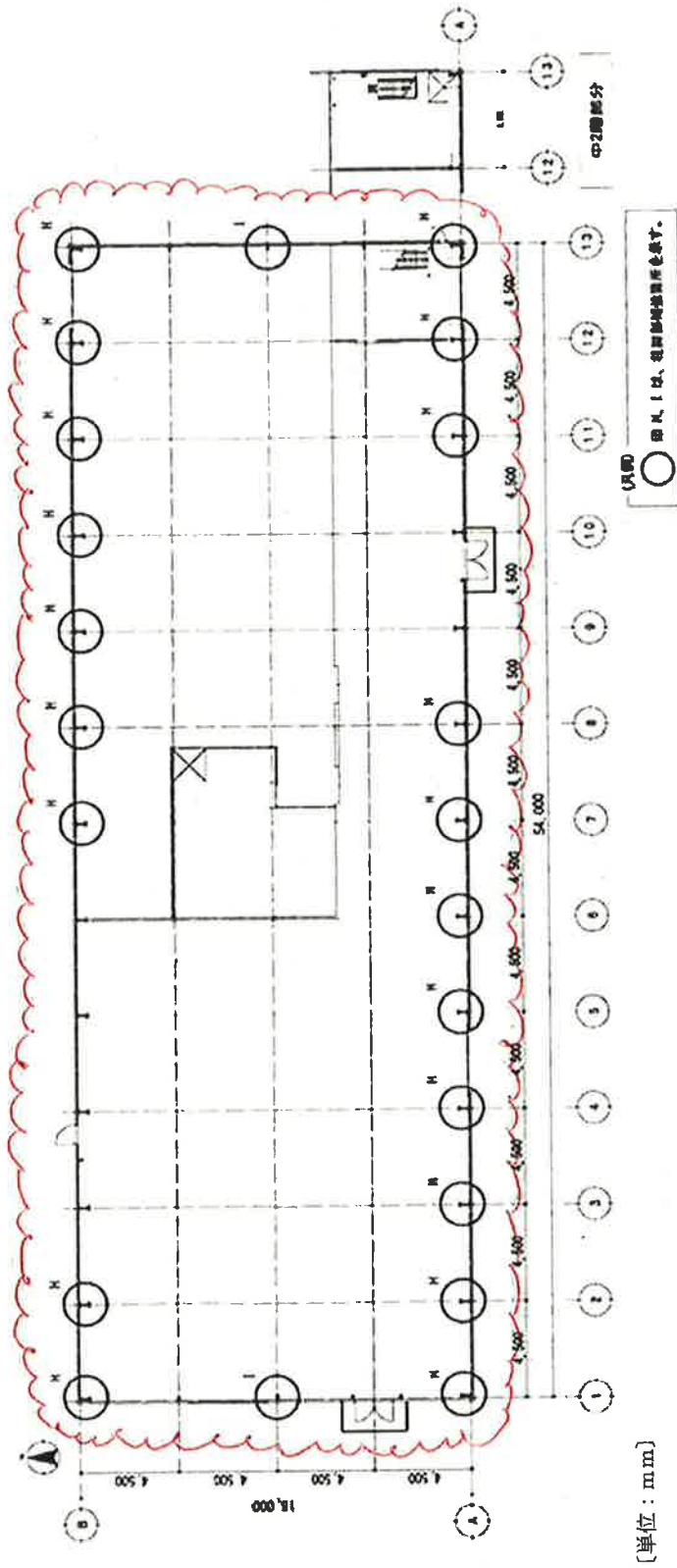


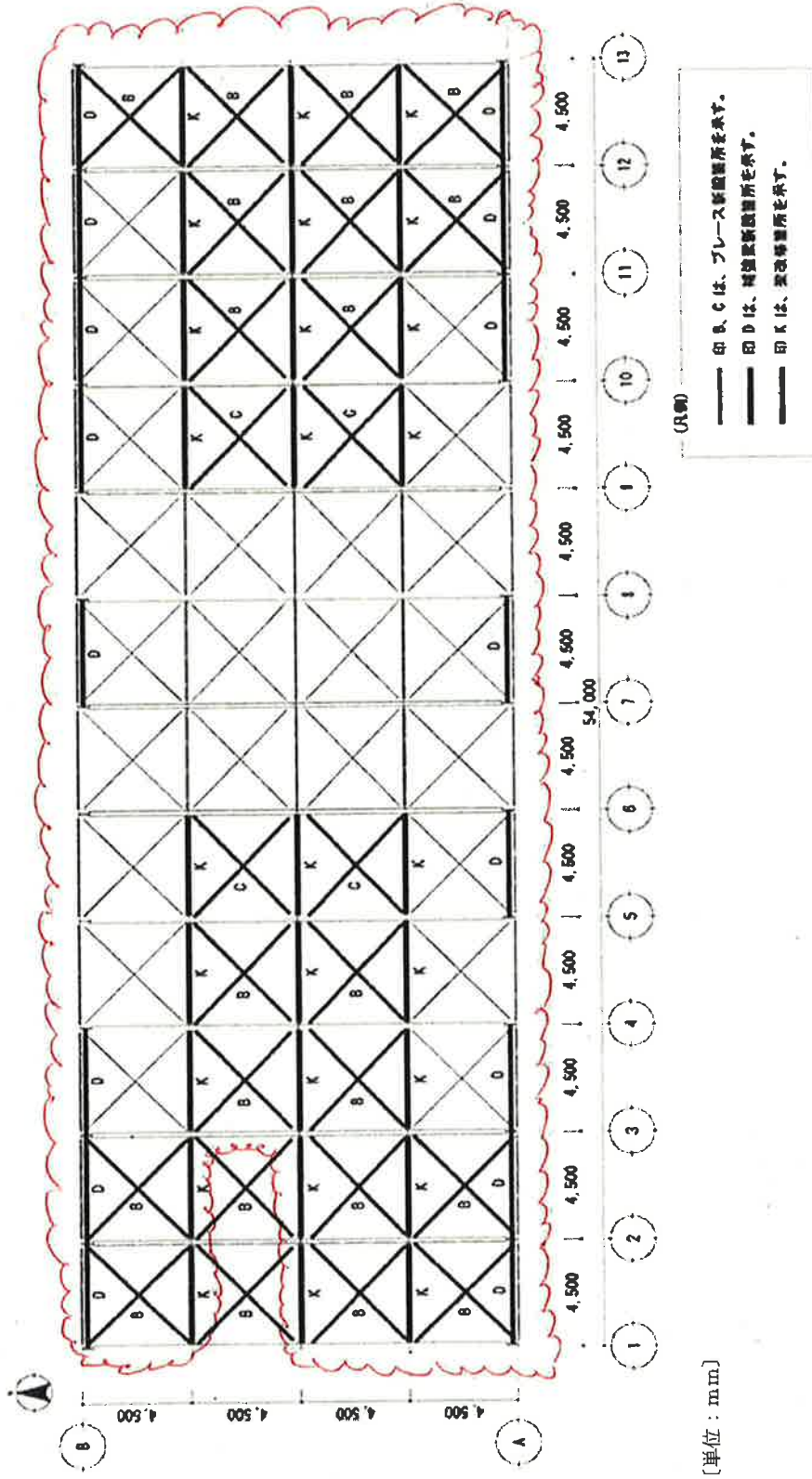
図 2.1 機械棟 1階伏図

立会確認箇所を示す。



※赤色は、令和元年12月17日立会確認箇所を示す。

既設の部材及び既設の寸法については、申請の範囲外とする。

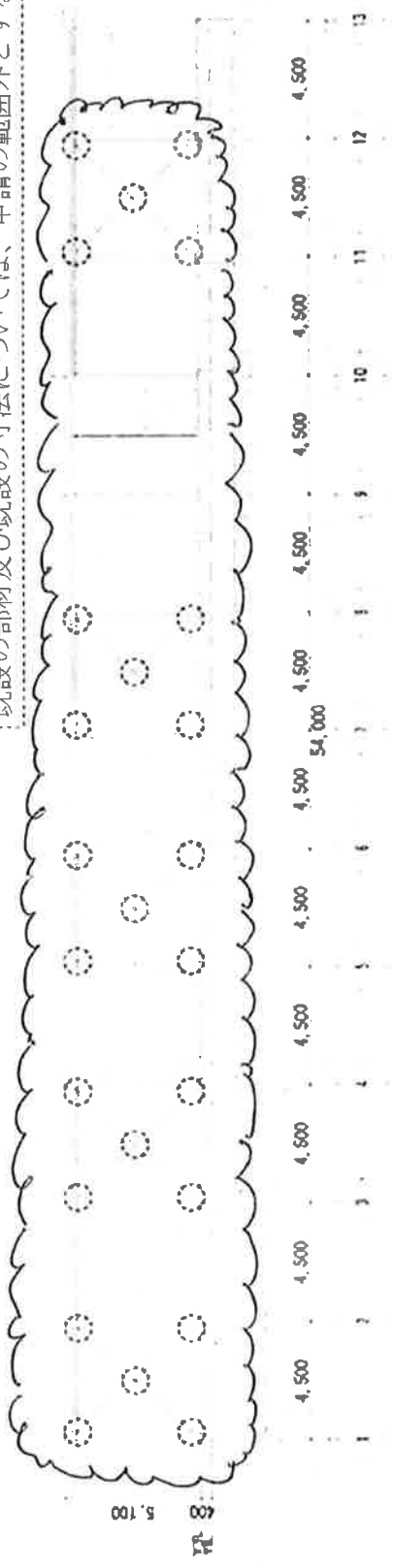


立会確認箇所を示す。 図 2.2 機械棟 小屋伏図



必承認は令和元年12月17日確認箇所を示す。

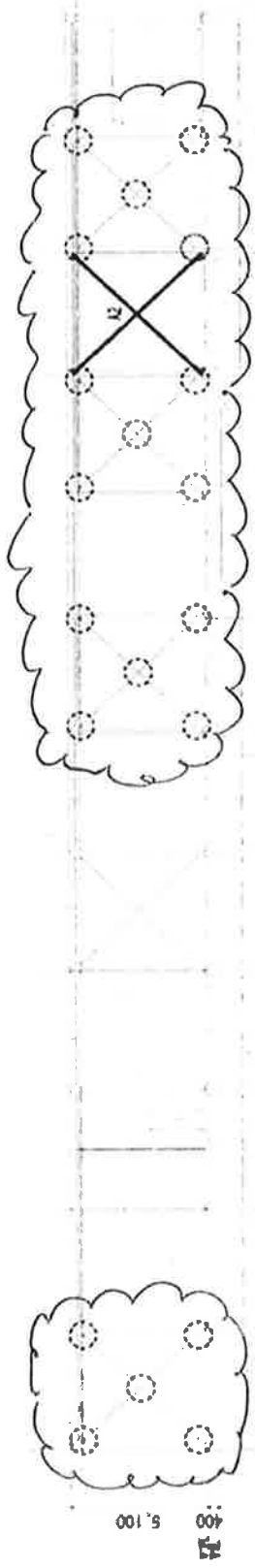
既設の部材及び既設の寸法については、申請の範囲外とする。



[単位：mm]

図 2.3 機械棟 A 通軸組図

印は、プレス改修（組合部増設）箇所を示す。



[単位：mm]

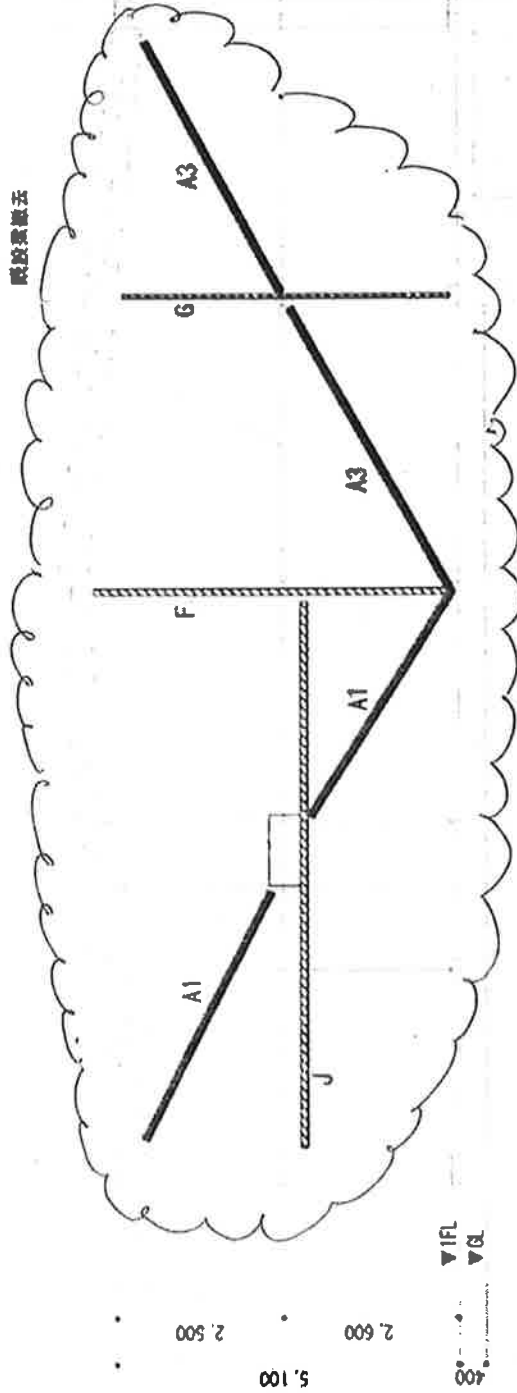
図 2.4 機械棟 B 通軸組図

印は、プレス改修（組合部増設）箇所を示す。
印 A2 は、プレス新設箇所を示す。



立会確認箇所を示す。
(令和元年7月25日立会確認箇所を示す。)

既設の部材及び既設の寸法については、申請の範囲外とする。



(尺例)

印 A1、A3 は、ブレース新設箇所を示す。

印 F、G は、間柱新設箇所を示す。

印 J は、梁増強箇所を示す。

[単位：mm]

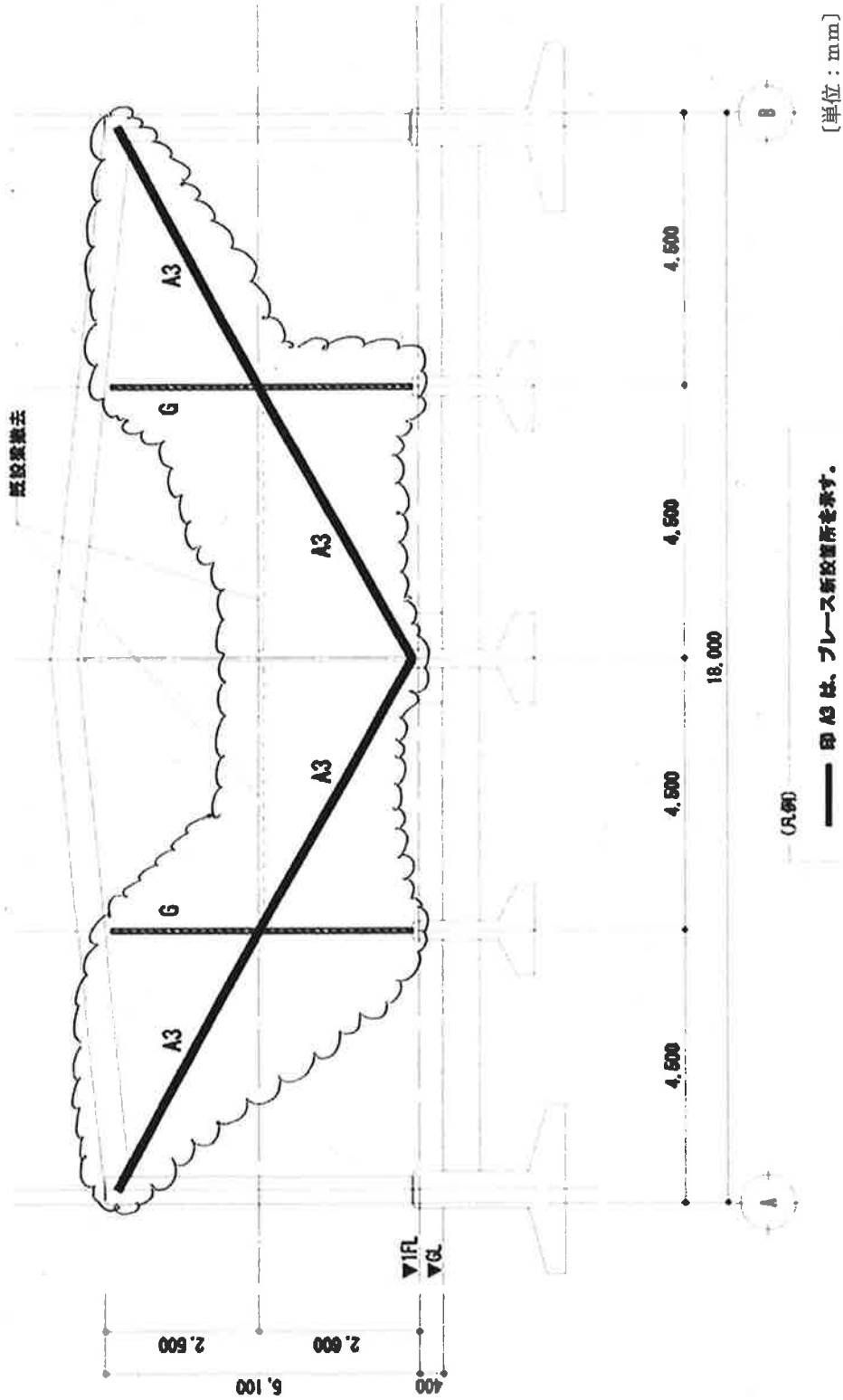


立会確認箇所を示す。

(令和元年7月25日立会確認箇所を示す)

図 2.5 機械棟 1 通軸組図

既設の部材及び既設の寸法については、申請の範囲外とする。



添付図 - 2 (5/5)

立会確認箇所を示す。
(令和元年7月25日立会確認箇所を示す。)

図 2.6 機械棟 13通軸組図

検査前確認事項

検査年月日 令和元年 7月 23日

検査場所 NSRR 原子炉施設

検査項目：材料検査

検査範囲	その他試験研究用等原子炉の附属施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造：照射物管理棟		
	確認事項	確認方法	結果
	① 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	記録	良
	② 必要な図面等が準備されていることを確認する。	記録	良
備考 本検査で確認した申請者の記録等を別紙-26に示す。			

材料検査記録

検査年月日 令和元年 7 月 23 日

検査場所 NSRR 原子炉施設

検査範囲	その他試験研究用等原子炉の附属施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造：照射物管理棟		
判定基準		結果	検査方法
設工認申請書（使用前検査要領書の添付資料-2「表1～表5 及び図3.1～図3.9」を参照）に記載された材料が使用されていること。		良	記録
備考 本検査で確認した申請者の記録等を別紙-26に示す。			

検査前確認事項検査年月日 令和元年 7月 24日検査場所 NSRR 原子炉施設検査項目：寸法検査

検査範囲	その他試験研究用等原子炉の附属施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造：照射物管理棟		
	確認事項	確認方法	結果
①	申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	記録	良
②	必要な図面等が準備されていることを確認する。	記録	良
③	使用する検査用計器が必要な測定範囲及び精度を有し、校正が適切に行われ、有効期限内であることを校正記録により確認する。	記録	良
備考 本検査で確認した申請者の記録等を別紙-26に示す。			

寸法検査記録

検査年月日 令和元年 7 月 24 日

検査場所 NSRR 原子炉施設

検査範囲	その他試験研究用等原子炉の附属施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造：照射物管理棟			
判定基準		結果	検査方法	
① 使用する材料の主要寸法が、設工認申請書（使用前検査要領書の添付資料-2「表1～表4及び図3.1～図3.9」を参照）に記載された寸法であること。		良	記録	
② あと施工アンカーボルトの埋込み長さが、設工認申請書（使用前検査要領書の添付資料-2「図3.1及び図3.9」を参照）に記載された寸法を確保していること。		良	記録	
備考				
本検査で確認した申請者の記録等を別紙-26に示す。				
・あと施工アンカーボルトの埋込み長さ				
部位		あと施工 アンカーボルト	埋め込み長さ	備考
柱脚部補強	G部	4-M24	192(mm)以上	
	H部	4-M24	192(mm)以上	
	I部	6-M24	192(mm)以上	
	J部	8 M24	192(mm)以上	

検査前確認事項

12 17

検査年月日 令和元年 7 月 24 日

検査場所 NSRR 原子炉施設

検査項目：外観検査

検査範囲	その他試験研究用等原子炉の附属施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造：照射物管理棟		
	確認事項	確認方法	結果
	① 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	記録	良
	② 必要な図面等が準備されていることを確認する。	記録	良
備考	本検査で確認した申請者の記録等を別紙-26に示す。		

外観検査記録

12 17
 検査年月日 令和元年 7 月 24 日
 検査場所 NSRR 原子炉施設

検査範囲	その他試験研究用等原子炉の附属施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造：照射物管理棟		
	判定基準	結果	検査方法
	① 鉄骨、座屈拘束ブレース、ターンバックル、あと施工アンカーボルト及び高力ボルトが、設工認申請書（使用前検査要領書の添付資料-2「図3.1～図3.9」を参照）どおりに配置されていること。	良	立会 / 記録
	② 鉄骨、座屈拘束ブレース及びターンバックルの表面（使用前検査要領書の添付資料-2「図3.1～図3.9」を参照）に機能に影響を及ぼす有害な傷及び破損がないこと。	良	立会 / 記録
	③ 現場溶接部（使用前検査要領書の添付資料-2「図3.1～図3.9」を参照）に割れ等の有害な欠陥がないこと。	良	立会 / 記録
備考	立会確認箇所を添付図-3、本検査で確認した申請者の記録等を別紙-26に示す。		

既設の部材及び既設の寸法については、申請の範囲外とする。

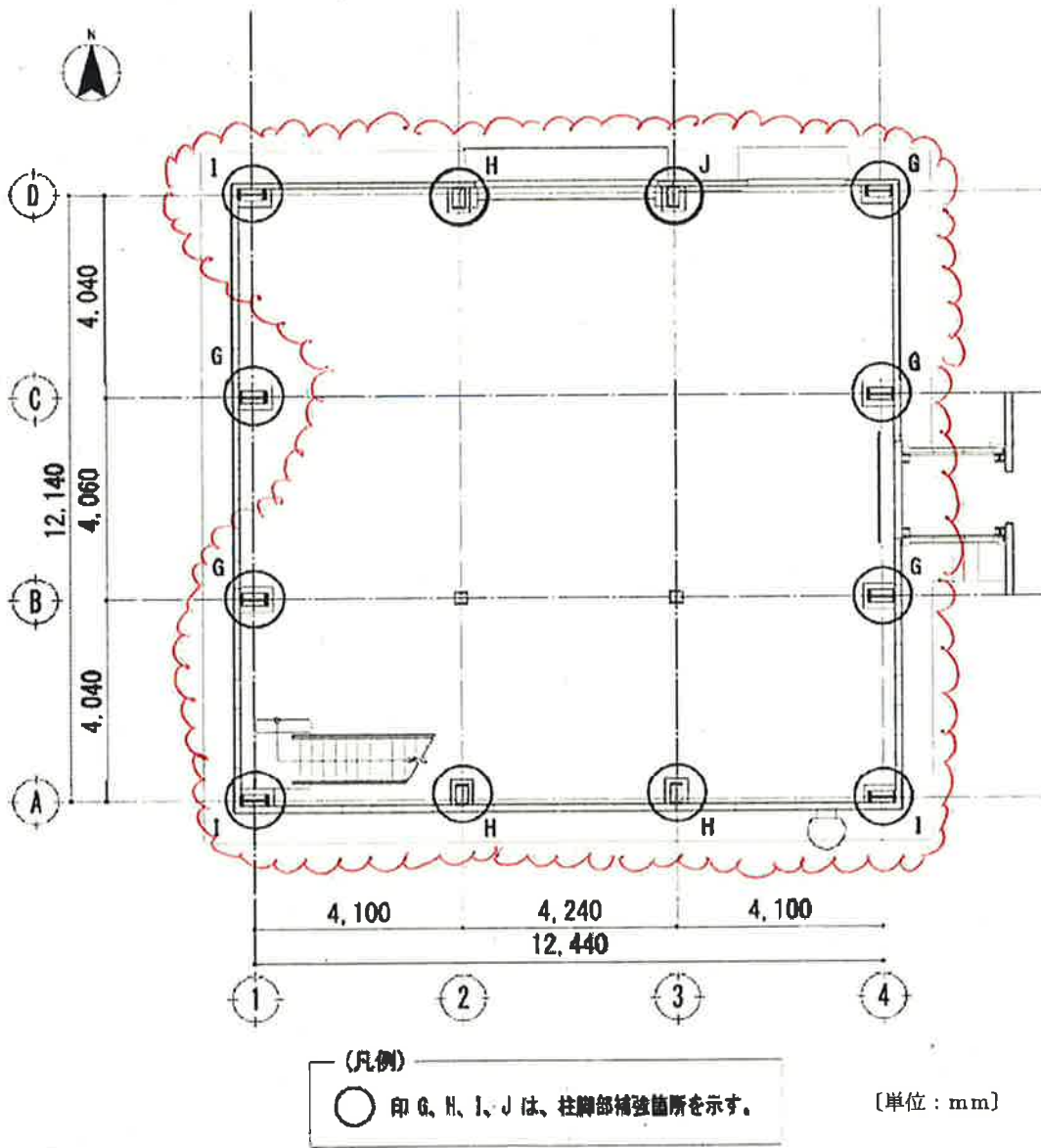


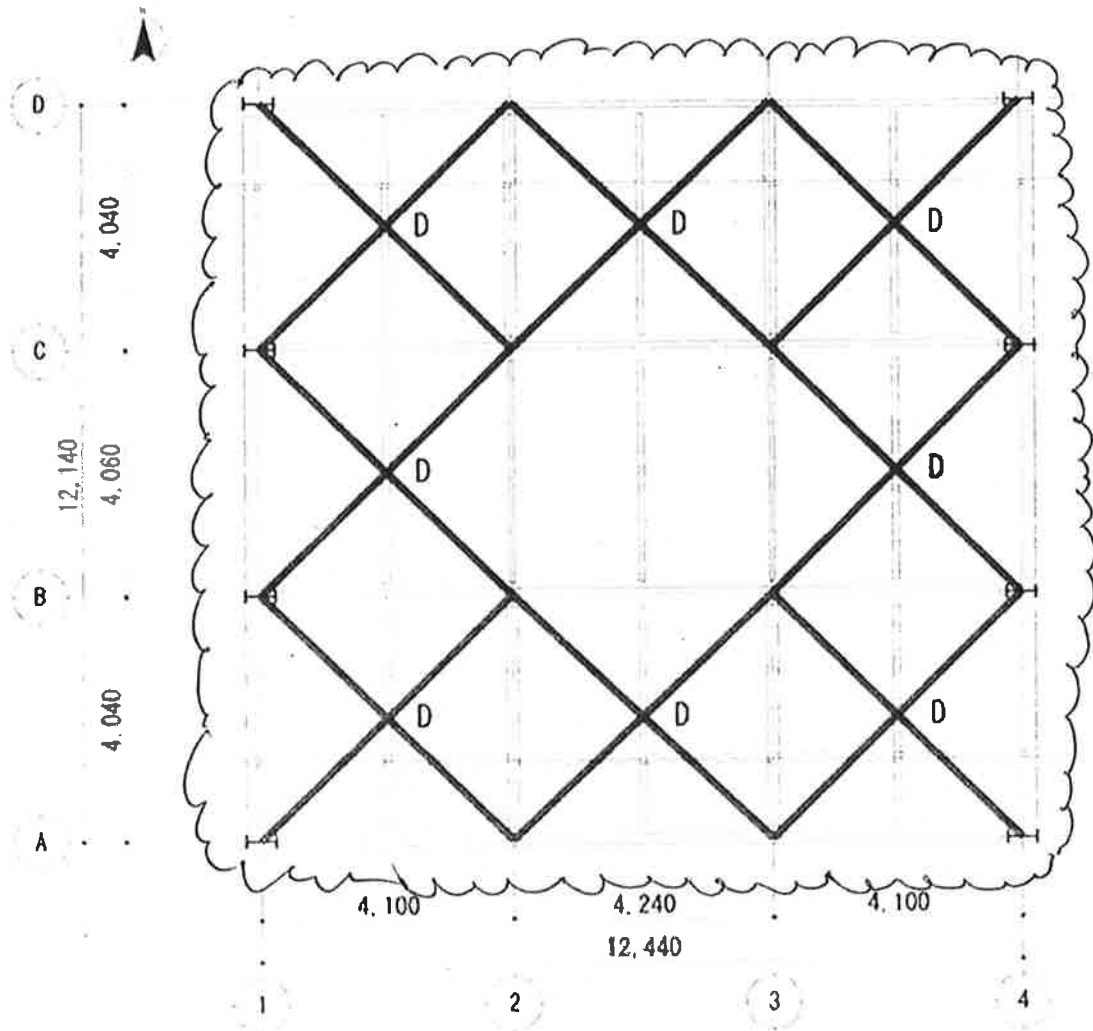
図 3.1 照射物管理棟 1階伏図



立会確認箇所を示す。

※赤色は、令和元年12月17日立会確認箇所を示す。

既設の部材及び既設の寸法については、申請の範囲外とする。



(凡例)

— 印 D は、ブレース新設箇所を示す。

[単位：mm]

図 3.2 照射物管理棟 屋根伏図 (Z5 レベル)

立会確認箇所を示す。

(令和元年7月24日立会確認箇所を示す。)

既設の部材及び既設の寸法については、申請の範囲外とする。

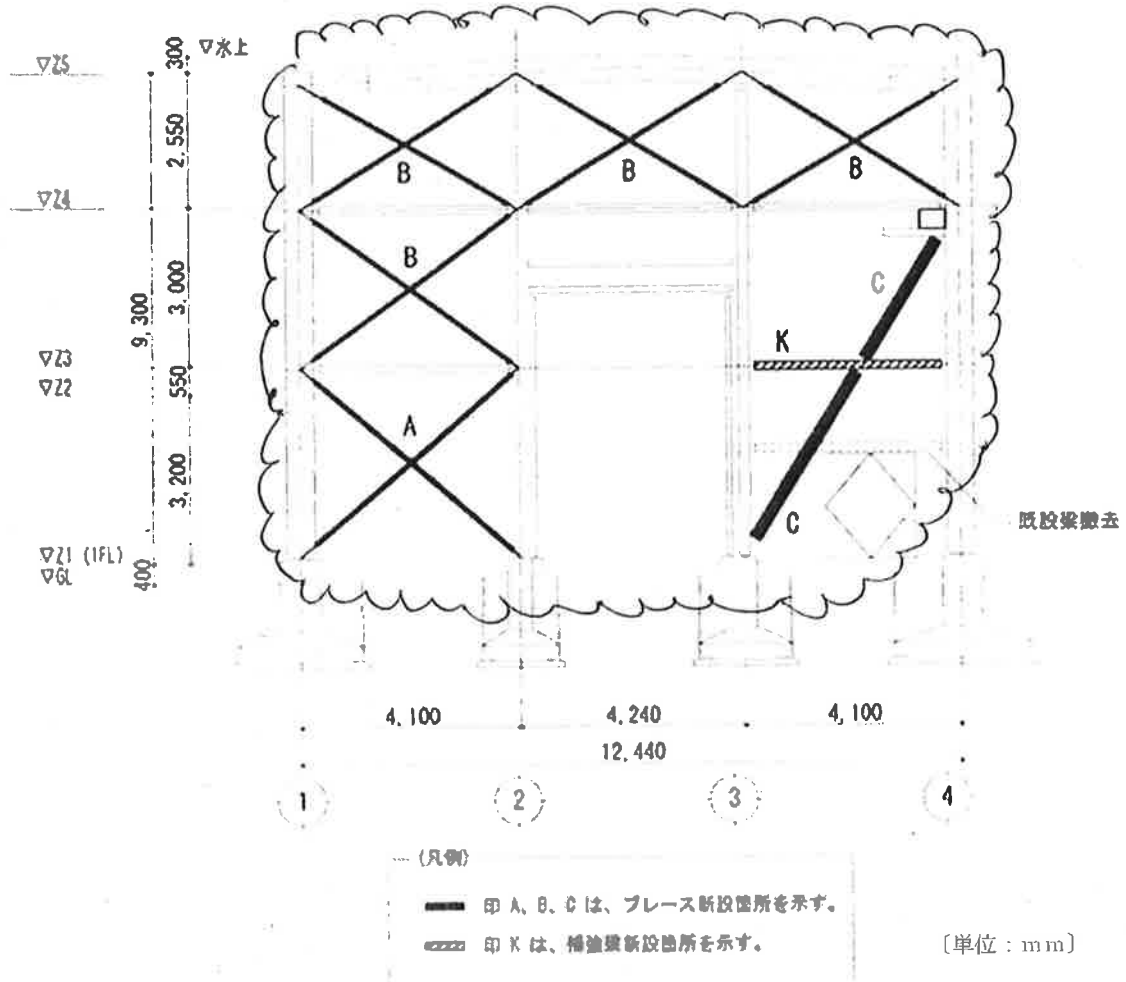


図 3.3 照射物管理棟 D 通軸組図



立会確認箇所を示す。
(令和元年7月24日立会確認箇所を示す。)

既設の部材及び既設の寸法については、申請の範囲外とする。

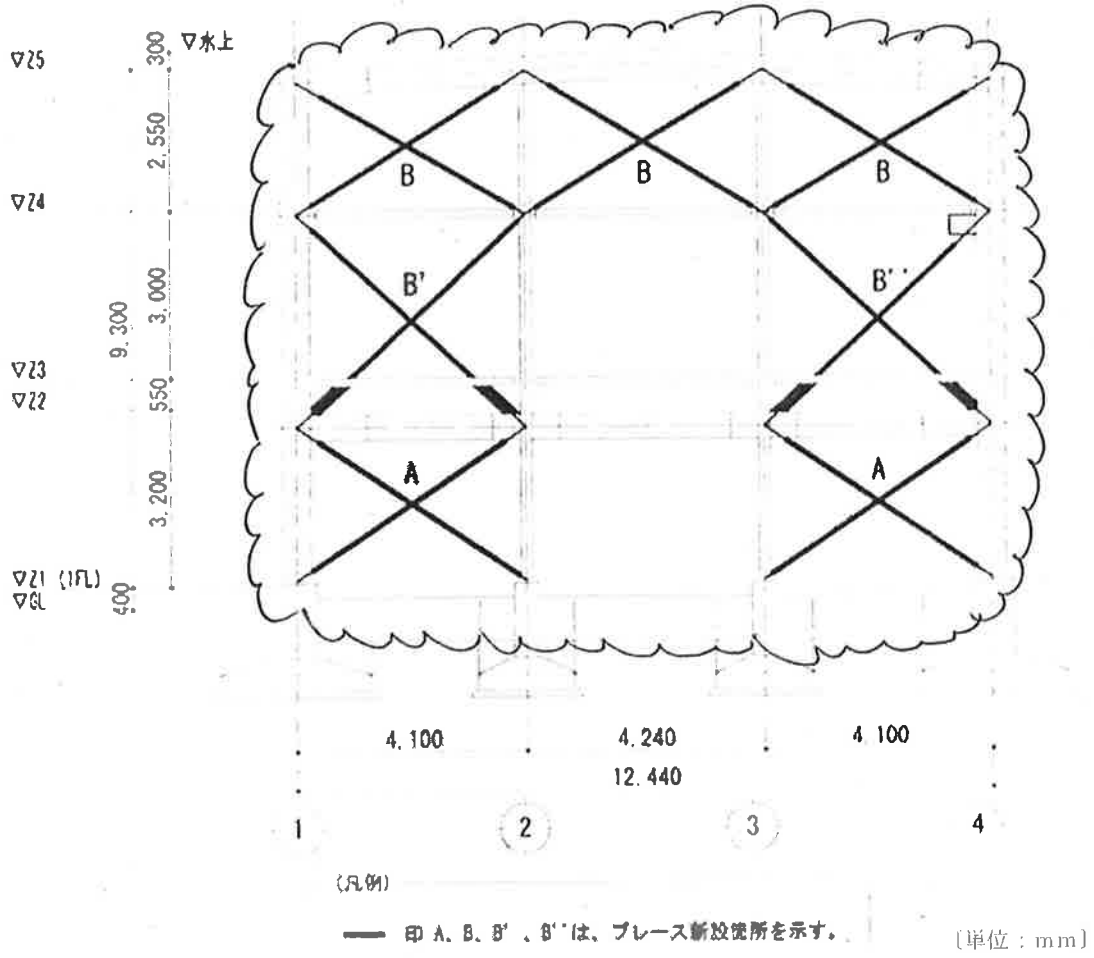


図 3.4 照射物管理棟 A 通軸組図



立会確認箇所を示す。
 (令和元年7月24日立会確認箇所を示す。)

既設の部材及び既設の寸法については、申請の範囲外とする。

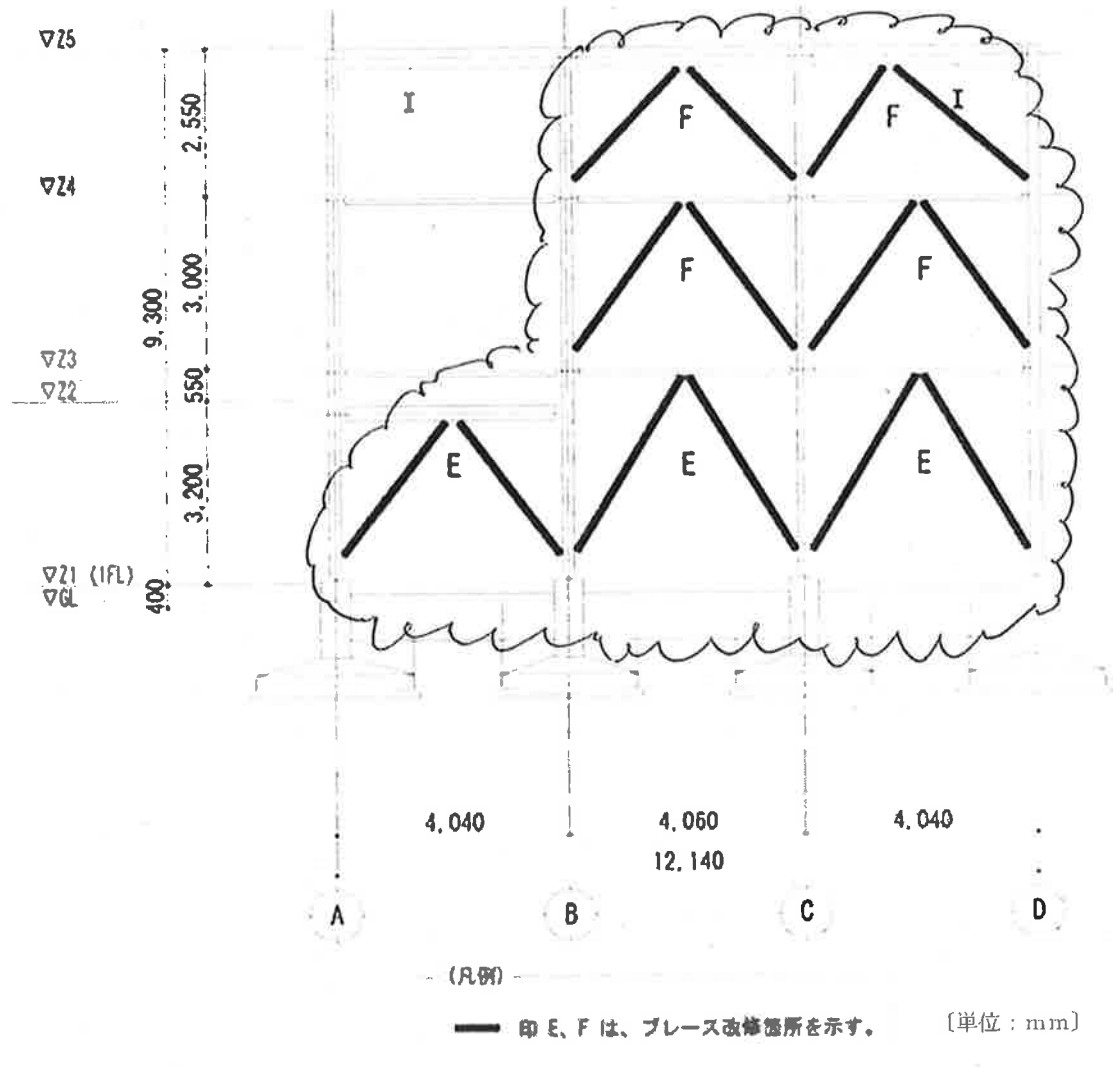


図 3.5 照射物管理棟 1,4 通軸組図



立会確認箇所を示す。
 (令和元年7月24日立会確認箇所を示す。)

検査前確認事項

検査年月日 令和元年 7 月 31 日
 検査場所 NSRR 原子炉施設

検査項目：品質管理の方法等に関する検査

<p>検査範囲</p>	<p>核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造：燃料棟 その他試験研究用等原子炉の附属施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造：機械棟、照射物管理棟</p>		
	<p>確認事項</p>	<p>確認方法</p>	<p>結果</p>
<p>法令、規格、設工認申請書、申請者の規程類、申請者の品質記録及びエビデンスが準備されていることを確認する。</p>	<p>記録</p>	<p>良</p>	
<p>備考 本検査で確認した申請者の記録等を別紙-26に示す。</p>			

品質管理の方法等に関する検査記録

12 17

検査年月日 令和元年 7月 23日

検査場所 NSRR 原子炉施設

検査範囲	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造：燃料棟 その他試験研究用等原子炉の附属施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造：機械棟、照射物管理棟
判定基準	検査結果
<p>工事及び検査に係る保安活動が、設工認申請書に定められた品質管理の方法等に関する事項に従って行われていること。</p>	良
総合所見	<p>当該工事及び検査に係る保安活動が、事業者の定める保安品質保証計画書に従って実施されていることを確認した。</p>
品質管理の方法等に関する所見	<p>1 品質保証の実施に係る組織</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事及び検査に係る必要な人的資源、インフラストラクチャー及び作業環境が確保され、申請者部門間及び調達先との間の責任及び権限が明確にされ、体制の構築、情報伝達等が設工認申請書に従って行われていることを確認した。 ・供給者の選定や管理が設工認申請書に従って行われていることを確認した。 <p>2 保安活動の計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事及び検査に係る法令、仕様等の要求事項及び①の組織体制等が申請者関係部門及び供給者に明確にされ、対象設備について全体工程や各工程段階における監視、測定、検証、妥当性確認、試験及び検査が漏れなく実施されるよう計画（手順や合否判定基準を含む。）が定められていることを確認した。 ・①の供給者（調達物品や役務を含む。）の管理方法についても設工認申請書に従って定められていることを確認した。 <p>3 保安活動の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事及び検査が②の計画に従って漏れなく実施されていることを確認した。また、調達物品や役務に係る各工程段階における監視、測定、検証、妥当性確認、試験及び検査についても設工認申請書に従って行われていることを確認した。 <p>4 保安活動の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調達物品や役務、原子力施設が要求事項に適合していることを実証するため、②の計画に従って漏れなく監視、測定、試験及び検査が行われていることを評価していることを確認した。また、不適合が発生した場合の処置、供給者から申請者への報告についても②の計画に従って行われていることを確認した。 <p>5 保安活動の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予防処置又は不適合に対する是正処置を通じて、品質管理の方法等の継続的改善が実施されていることを確認した。
備考	<p>本検査で確認した申請者の記録等を別紙-26に示す。</p>

記 録 一 覧 表

検査年月日：令和元年7月²³24日

検査場所：NSRR原子炉施設

No.	確認した書類の名称	文書番号、制定年月日等	備考*
1	原子力科学研究所原子炉施設及び核燃料物質等使用施設品質保証計画書	QS-P10 平成30年7月18日	(品)
2	研究炉加速器技術部教育・訓練管理要領	(科研)QAM-620 平成31年3月15日	(品)
3	保安活動に従事する者の力量評価表	(科研)QAM-620 様式1-4	(品)
4	研究炉加速器技術部業務の計画及び実施に関する要領	(科研)QAM-710 平成31年3月29日	(品)
5	燃料棟、機械棟及び照射物管理棟の耐震改修工事に係る業務の計画	(科研N)QAM-710-019 令和元年5月23日	(品)
6	施設建設等依頼書	・平成26年度 NSRR 燃料棟他耐震改修設計業務の技術支援について ・平成27年度 NSRR 耐震改修設計業務等の実施について ・平成28年度 NSRR 附属建家耐震改修工事について	(品)
7	施設建設等業務の実施中における設計変更確認書	30 原科研 NSRR 機械棟他耐震改修工事	(品)
8	原子力科学研究所調達管理要領	(科)QAM-740 平成31年2月18日	(品)
9	調達要求事項の確認	(科)QAM-740 様式1 30 原科研 NSRR 機械棟他耐震改修工事	(品)
10	引合の評価・再評価票	(科)QAM-740 様式2 30 原科研 NSRR 機械棟他耐震改修工事	(品)
11	一般競争入札記載事項調査票	30 原科研 NSRR 機械棟他耐震改修工事	(品)
12	技術審査依頼書	30 原科研 NSRR 機械棟他耐震改修工事	(品)
13	競争参加資格確認申請書	30 原科研 NSRR 機械棟他耐震改修工事	(品)
14	研究炉加速器技術部設計・開発管理要領	(科研)QAM-730 平成31年2月12日	(品)
15	設計管理計画	(科研)QAM-730 様式3-1 NSRR 燃料棟他2建家耐震改修業務	(品)
16	設計要求の適切性評価記録	(科研)QAM-730 様式3-2 NSRR 燃料棟他2建家耐震改修業務	(品)

No.	確認した書類の名称	文書番号、制定年月日等	備考*
17	設計要求と設計結果の対比の記録	(科研) QAM-730 様式 3-3 NSRR 燃料棟他 2 建家耐震改修 業務	(品)
18	設計の検証の記録	(科研) QAM-730 様式 3-4 NSRR 燃料棟他 2 建家耐震改修 業務	(品)
19	設計の変更の記録	(科研) QAM-730 様式 3-5 NSRR 燃料棟他 2 建家耐震改修 業務	(品)
20	工事監理業務区分	30 原科研 NSRR 機械棟他耐 震改修工事	(品)
21	研究炉加速器技術部部内安全審査 会運営要領	(科研) QAM-550 平成 31 年 2 月 6 日	(品)
22	研究炉加速器技術部 部内安全審 査会議事録	平成 28 年度第 3 回 平成 28 年度第 17 回 平成 29 年度第 23 回 平成 29 年度第 28 回 平成 30 年度第 5 回 平成 30 年度第 21 回 平成 30 年度第 32 回	(品)
23	研究炉加速器技術部 部内安全審 査会 (諮問及び答申)	(科研) QAM-550 様式 1 平成 28 年度第 3 回 平成 28 年度第 17 回 平成 29 年度第 23 回 平成 29 年度第 28 回 平成 30 年度第 5 回 平成 30 年度第 21 回 平成 30 年度第 32 回	(品)
24	原子炉施設等安全審査委員会規則	(科) QAM-550 平成 31 年 4 月 1 日	(品)
25	原子炉施設等安全審査委員会 安 全審査手続票	(科研) QAM-550 様式 4 第 112 回、第 125 回、 第 140 回、第 145 回、 第 151 回、第 157 回、 第 164 回	(品)
26	原子炉施設等安全審査委員会 議 事録	第 112 回、第 125 回、 第 140 回、第 145 回、 第 151 回、第 157 回、 第 164 回	(品)
27	答申書	(科) QAM-550 様式 1 審議番号 (112-1、125-14、 140-1、145-4、151-1、157-7、 164-2)	(品)
28	研究炉加速器技術部試験・検査の管 理要領	(科研) QAM-820 平成 30 年 4 月 1 日	(品)
29	研究炉加速器技術部使用前検査対 応要領	(科研) QAM-820-004 平成 30 年 4 月 1 日	(品)
30	NSRR 内部コミュニケーション要領	(科研 N) QAM-710-015 平成 31 年 3 月 29 日	(品)

No.	確認した書類の名称	文書番号、制定年月日等	備考*
31	内部コミュニケーションの記録	(科研 N) QAM-710-015 様式 1 平成 30 年度	(品)
32	NSRR 工程会議議事録	(科研 N) QAM-710-015 様式 2 平成 30 年度、 平成 31 年 (令和元年) 度	(品)
33	30 原科研 NSRR 機械棟他耐震改修 工事 3ヶ月工程表	30 原科研 NSRR 機械棟他耐 震改修工事	(品)
34	原子力科学研究所保安活動の評価 要領	(科) QAM-822 平成 31 年 3 月 29 日	(品)
35	保安活動の実施状況 (平成 30 年度下 期)	(科) QAM-822 様式 1	(品)
36	保安活動の実施状況の評価 (平成 30 年度下期)	(科) QAM-822 様式 2	(品)
37	技術連絡書	文書番号 (質疑-61、63、69)	(品)
38	工事質疑書	文書番号 (148477-112、113、115)	(品)
39	30 原科研 NSRR 機械棟他耐震改修 工事 ・建設部実施体制表 ・NSRR 関係課室実施体制表 ・鈴縫工業株式会社 会社組織体制 表	—	(品)
40	燃料棟、機械棟及び照射物管理棟の 耐震改修 事業者検査要領書	(科研 N) QAM-820-012 平成 31 年 4 月 24 日	(品) (材) (寸) (配) (型) (外)
41	事業者検査記録	材料検査 寸法検査 構造検査 1 (配筋検査) 構造検査 2 (型枠検査) 外観検査	(品) (材) (寸) (配) (型) (外)
42	燃料棟、機械棟及び照射物管理棟の 耐震改修 写真記録	—	(材) (寸) (配) (型) (外)
43	研究炉加速器技術部監視機器及び 測定機器の管理要領	(科研) QAM-760 平成 30 年 9 月 14 日	(寸)
44	測定機器管理台帳	直尺 (NS012) 直尺 (NS082)	(寸)
45	測定機器等校正記録確認表	金属製直尺 (鈴縫 001) ロック 25 (鈴縫 004) デジマチックキャリパ (鈴縫 006) ねじリンクゲージ (鈴縫 009) ねじリンクゲージ (鈴縫 010)	(寸)

* 備考欄の記載について

(材) : 材料検査 (寸) : 寸法検査 (配) : 配筋検査 (型) : 型枠検査 (外) : 外観検査
(品) : 品質管理の方法等に関する検査

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
原子力科学研究所
原子炉施設（NSRR 原子炉施設）
使用前検査成績書（1 / 2）

（その他試験研究用等原子炉の附属施設の構造及び設備の一部変更）

原子力規制委員会

使用前検査成績書

事業者及び事業者名	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所		
検査範囲	その他試験研究用等原子炉の附属施設の構造及び設備のうち その他の主要な事項のうち 消火設備の全ての設備 火災警報装置及び消火設備に関するもの		
検査場所	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所 NSRR原子炉施設		
申請年月日及び申請番号	令和2年2月4日 令01原機(科研)031		
検査項目	検査年月日	結果	摘要
員数検査	令和2年2月25日	良	別紙-1, 2 のとおり
作動検査	令和2年2月25日	良	別紙-3, 4 のとおり
設計変更の生じた 構築物等に対する 適合性確認結果の検査	令和2年2月25日	良	別紙-5, 6 のとおり
品質管理の方法等 に関する検査	令和2年2月25日	良	別紙-7, 8 のとおり
原子力施設検査官	梶田幸祐 松本 武彦		
検査立会責任者 (役職名)	[REDACTED]		
備考			

検査前確認事項検査年月日 令和 2 年 2 月 25 日検査場所 N S R R 原子炉施設検査項目：員数検査

検査範囲	その他試験研究用等原子炉の附属施設の構造及び設備のうち その他の主要な事項のうち 消火設備の全ての設備 火災警報装置及び消火設備に関するもの		
確認事項		確認方法	結果
① 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。		記録	良
② 必要な図面等が準備されていることを確認する。		記録	良
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-9に示す。			

員数検査記録

検査年月日 令和 2 年 2 月 25 日

検査場所 N S R R 原子炉施設

検査範囲	その他試験研究用等原子炉の附属施設の構造及び設備のうち その他の主要な事項のうち 消火設備の全ての設備 火災警報装置及び消火設備に関するもの		
判定基準		結果	検査方法
火災感知器、火災受信機、消火栓及び消火器が使用前検査実施要領 添付資料-2 表 1、表 2 及び図 3 の位置及び数量により配置されていること。		良	記録
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-9 に示す。			

検査前確認事項

検査年月日 令和 2 年 2 月 25 日

検査場所 N S R R 原子炉施設

検査項目：作動検査

検査範囲	その他試験研究用等原子炉の附属施設の構造及び設備のうち その他の主要な事項のうち 消火設備の全ての設備 火災警報装置及び消火設備に関するもの		
	確認事項	確認方法	結果
	① 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	記録	良
	② 必要な図面等が準備されていることを確認する。	記録	良
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-9に示す。			

作動検査記録

検査年月日 令和 2 年 2 月 25 日

検査場所 N S R R 原子炉施設

検査範囲	その他試験研究用等原子炉の附属施設の構造及び設備のうち その他の主要な事項のうち 消火設備の全ての設備 火災警報装置及び消火設備に関するもの		
	判定基準	結果	検査方法
	火災感知器が作動すること。	良	記録
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-9に示す。			

検査前確認事項

検査年月日 令和 2 年 2 月 25 日

検査場所 N S R R 原子炉施設

検査項目：設計変更の生じた構築物等に対する適合性確認結果の検査

検査範囲	その他試験研究用等原子炉の附属施設の構造及び設備のうち その他の主要な事項のうち 消火設備の全ての設備 火災警報装置及び消火設備に関するもの		
	確認事項	確認方法	結果
	① 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	記録	良
	② 必要な図面等が準備されていることを確認する。	記録	良
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-9に示す。			

設計変更の生じた構築物等に対する適合性確認結果の検査記録

検査年月日 令和 2 年 2 月 25 日

検査場所 N S R R 原子炉施設

<p>検査範囲</p>	<p>その他試験研究用等原子炉の附属施設の構造及び設備のうち その他の主要な事項のうち 消火設備の全ての設備 火災警報装置及び消火設備に関するもの</p>		
<p>判定基準</p>		<p>結果</p>	<p>検査方法</p>
<p>設工認申請書に従って行われ、下記の性能の技術基準に適合していること。 ・安全設備（第16条第1項第4号及び第5号）</p>		<p>良</p>	<p>記録</p>
<p>備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-9に示す。</p>			

検査前確認事項

検査年月日 令和 2 年 2 月 25 日

検査場所 N S R R 原子炉施設

検査項目：品質管理の方法等に関する検査

検査範囲	その他試験研究用等原子炉の附属施設の構造及び設備のうち その他の主要な事項のうち 消火設備の全ての設備 火災警報装置及び消火設備に関するもの		
確 認 事 項	確認方法	結果	
法令、規格、設工認申請書、申請者の規程類、申請者の品質記録及びエビデンスが準備されていることを確認する。	記録	良	
<p>備 考</p> <p>本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-9に示す。</p>			

品質管理の方法等に関する検査記録

検査年月日 令和 2 年 2 月 25 日

検査場所 NSRR 原子炉施設

検査範囲	その他試験研究用等原子炉の附属施設の構造及び設備のうち その他の主要な事項のうち 消火設備の全ての設備 火災警報装置及び消火設備に関するもの	
判定基準		検査結果
工事及び検査に係る保安活動が、設工認申請書に定められた品質管理の方法等に関する事項に従って行われていること。		良
総合所見	当該工事及び検査に係る保安活動が、事業者の定める保安品質保証計画書に従って実施されていることを確認した。	
品質管理の方法等に関する所見	1 品質保証の実施に係る組織 ・工事及び検査に係る必要な人的資源、インフラストラクチャー及び作業環境が確保され、申請者部門間及び調達先との間の責任及び権限が明確にされ、体制の構築、情報伝達等が設工認申請書に従って行われていることを確認した。 ・供給者の選定や管理が設工認申請書に従って行われていることを確認した。	
	2 保安活動の計画 ・工事及び検査に係る法令、仕様等の要求事項及び①の組織体制等が申請者関係部門及び供給者に明確にされ、対象設備について全体工程や各工程段階における監視、測定、検証、妥当性確認、試験及び検査が漏れなく実施されるよう計画（手順や合否判定基準を含む。）が定められていることを確認した。 ・①の供給者（調達物品や役務を含む。）の管理方法についても設工認申請書に従って定められていることを確認した。	
	3 保安活動の実施 ・工事及び検査が②の計画に従って漏れなく実施されていることを確認した。また、調達物品や役務に係る各工程段階における監視、測定、検証、妥当性確認、試験及び検査についても設工認申請書に従って行われていることを確認した。	
	4 保安活動の評価 ・調達物品や役務、原子力施設が要求事項に適合していることを実証するため、②の計画に従って漏れなく監視、測定、試験及び検査が行われていることを評価していることを確認した。また、不適合が発生した場合の処置、供給者から申請者への報告についても②の計画に従って行われていることを確認した。	
	5 保安活動の改善 ・予防処置又は不適合に対する是正処置を通じて、品質管理の方法等の継続的改善が実施されていることを確認した。	
備考 本検査で確認した申請者の記録等を別紙-9に示す。		

記 録 一 覧 表

検査年月日：令和2年2月25日

検査場所：NSRR 原子炉施設

No.	確認した書類の名称	文書番号、制定年月日等	備考*
1	原子力科学研究所原子炉施設及び核燃料物質等使用施設品質保証計画書	QS-P10 平成30年7月18日	(品)
2	研究炉加速器技術部教育・訓練管理要領	(科研)QAM-620 平成31年3月15日	(品)
3	保安活動に従事する者の力量評価表	(科研)QAM-620 様式1-4	(品)
4	研究炉加速器技術部業務の計画及び実施に関する要領	(科研)QAM-710 令和元年12月4日	(品)
5	消火設備の設置に係る業務の計画	(科研N)QAM-710-020 令和元年11月12日	(品)
6	研究炉加速器技術部設計・開発管理要領	(科研)QAM-730 令和元年9月2日	(品)
7	設計管理計画	(科研)QAM-730 様式3-1 消火設備の設置	(品)
8	設計要求の適切性評価記録	(科研)QAM-730 様式3-2 消火設備の設置	(品)
9	設計要求と設計結果の対比の記録	(科研)QAM-730 様式3-3 消火設備の設置	(品)
10	設計の検証の記録	(科研)QAM-730 様式3-4 消火設備の設置	(品)
11	設計の変更の記録	(科研)QAM-730 様式3-5 消火設備の設置	(品)
12	研究炉加速器技術部部内安全審査会運営要領	(科研)QAM-550 平成31年2月6日	(品)
13	研究炉加速器技術部 部内安全審査会議事録	平成30年度第13回 令和元年度第8回 令和元年度第16回	(品)
14	研究炉加速器技術部 部内安全審査会(諮問及び答申)	(科研)QAM-550 様式1 平成30年度第13回 令和元年度第8回 令和元年度第16回	(品)
15	原子炉施設等安全審査委員会規則	(科)QAM-550 平成31年4月1日	(品)
16	原子炉施設等安全審査委員会 安全審査手続票	(科研)QAM-550 様式4 第154回 第174回 第179回	(品)
17	原子炉施設等安全審査委員会 議事録	第154回 第174回 第179回	(品)
18	答申書	(科)QAM-550 様式1 審議番号(154-2、174-5、	(品)

No.	確認した書類の名称	文書番号、制定年月日等	備考*
		179-5)	
19	研究炉加速器技術部使用前検査対応要領	(科研)QAM-820-004 平成30年4月1日	(品)
20	消火設備 事業者検査要領書	(科研N)QAM-820-014 令和2年2月17日	(品)(員)(作)(適)
21	事業者検査記録	上記要領の記録 員数検査 作動検査 性能の確認検査	(品)(員)(作)(適)
22	消火設備 事業者検査 写真記録	—	(員)(作)(適)
23	自動火災報知設備点検票	令和元年12月6日	(作)
24	NSRR 制御棒駆動機構組立図 2、3	図面番号：294BB0228-007 図面番号：294BB0228-008	(適)
25	完成図	図面番号：W409719 IR07 昭和63年4月4日	(適)
26	保安教育訓練実施報告書(NSRR管理課) ・使用前検査に係る事業者検査要領書の制定に伴う教育	令和2年2月18日 令和2年2月19日	(品)

*備考欄の記載について

(員)：員数検査、(作)：作動検査、(適)：設計変更の生じた構築物等に対する適合性確認結果の検査、(品)：品質管理の方法等に関する検査

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
原子力科学研究所
原子炉施設（NSRR 原子炉施設）
使用前検査成績書（2 / 2）

（試験研究用等原子炉施設の一般構造、原子炉冷却系統施設の構造及び設備、放射性廃棄物の廃棄施設の構造及び設備及びその他試験研究用等原子炉の附属施設の構造及び設備の一部変更）

原子力規制委員会

使用前検査成績書

事業者及び 事業者名	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所		
検査範囲	<p>「原子炉建家、照射物管理棟及び機械棟排風機室の保管廃棄施設の設置」 放射性廃棄物の廃棄施設の構造及び設備のうち、固体廃棄物の廃棄設備のうち、原子炉建家、照射物管理棟及び機械棟排風機室の保管廃棄施設</p> <p>「原子炉建家及び排気筒の避雷設備の設置」 その他試験研究用等原子炉の附属施設の構造及び設備のうち、その他の主要な事項のうち、原子炉建家及び排気筒の避雷設備</p> <p>「照射物管理棟給排気設備の設置」 放射性廃棄物の廃棄施設の構造及び設備のうち、気体廃棄物の廃棄設備のうち、照射物管理棟の給排気設備</p> <p>「外部消火栓の設置」 その他試験研究用等原子炉の附属施設の構造及び設備のうち、その他の主要な事項のうち、消火設備のうち、外部消火栓</p> <p>「管理区域外への漏えい防止対策」 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち、その他の主要な構造のうち、床ドレン 原子炉冷却系統施設の構造及び設備のうち、その他主要な事項のうち、オーバーフローライン 放射性廃棄物の廃棄施設の構造及び設備のうち、液体廃棄物の廃棄設備のうち、原子炉建屋ドレンタンク、機械棟水処理室、制御棟サンプ及びサンプポンプ、燃料棟サンプ及びサンプポンプ</p>		
検査場所	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所 NSRR原子炉施設		
申請年月日及び 申請番号	令和2年2月4日 令01原機(科研)031		
検査項目	検査年月日	結果	摘要
別紙-1のとおり	別紙-1のとおり	良	別紙-1のとおり
原子力施設検査官	梶田幸祐 松本武彦		
検査立会責任者 (役職名)	[Redacted]		
備考			

検査項目	検査年月日	結果	摘要
「原子炉建家、照射物管理棟及び機械棟排風機室の保管廃棄施設の設置」			
保管能力検査	令和2年2月25日	良	別紙-2, 3のとおり
「原子炉建家及び排気筒の避雷設備の設置」			
寸法検査	令和2年2月25日	良	別紙-4, 5のとおり
配置検査	令和2年2月25日	良	別紙-6, 7のとおり
外観検査	令和2年2月25日	良	別紙-8, 9のとおり
性能検査	令和2年2月25日	良	別紙-10, 11のとおり
「照射物管理棟給排気設備の設置」			
風量検査	令和2年2月25日	良	別紙-12, 13のとおり
捕集効率確認検査	令和2年2月25日	良	別紙-14, 15のとおり
系統確認検査	令和2年2月25日	良	別紙-16, 17のとおり
「外部消火栓の設置」			
員数検査	令和2年2月25日	良	別紙-18, 19のとおり
「管理区域外への漏えい防止対策」			
性能検査	令和2年2月26日	良	別紙-20, 21のとおり
「原子炉建家、照射物管理棟及び機械棟排風機室の保管廃棄施設の設置」、「原子炉建家及び排気筒の避雷設備の設置」、「照射物管理棟給排気設備の設置」、「外部消火栓の設置」及び「管理区域外への漏えい防止対策」			
設計変更の生じた構築物等に対する適合性確認結果の検査	令和2年2月25日 26日	良	別紙-22, 23のとおり
品質管理の方法等に関する検査	令和2年2月25日 26日	良	別紙-24, 25のとおり

検査前確認事項

検査年月日 令和 2 年 2 月 25 日
 検査場所 N S R R 原子炉施設

検査項目：保管能力検査

検査範囲	「原子炉建家、照射物管理棟及び機械棟排風機室の保管廃棄施設の設置」 放射性廃棄物の廃棄施設の構造及び設備のうち 固体廃棄物の廃棄設備のうち 原子炉建家、照射物管理棟及び機械棟排風機室の保管廃棄施設		
	確認事項	確認方法	結果
①	申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	記録	良
②	必要な図面等が準備されていることを確認する。	記録	良
③	使用する検査用計器が必要な測定範囲及び精度を有し、校正が適切に行われ、有効期限内であることを校正記録により確認する。	記録	良
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-27に示す。			

保管能力検査記録

検査年月日 令和 2 年 2 月 25 日

検査場所 N S R R 原子炉施設

検査範囲	<p>「原子炉建家、照射物管理棟及び機械棟排風機室の保管廃棄施設の設置」 放射線廃棄物の廃棄施設の構造及び設備のうち 固体廃棄物の廃棄設備のうち 原子炉建家、照射物管理棟及び機械棟排風機室の保管廃棄施設</p>		
	判定基準	結果	検査方法
	保管廃棄施設が使用前検査要領書の添付資料-2 表 1、図 1-1 及び図 1-2 の保管容量を有すること。	良	記録
<p>備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-27 に示す。</p>			

検査前確認事項

検査年月日 令和 2 年 2 月 25 日

検査場所 N S R R 原子炉施設

検査項目：寸法検査

検査範囲	「原子炉建家及び排気筒の避雷設備の設置」 その他試験研究用等原子炉の附属施設の構造及び設備のうち その他の主要な事項のうち 原子炉建家及び排気筒の避雷設備		
	確認事項	確認方法	結果
	① 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	記録	良
	② 必要な図面等が準備されていることを確認する。	記録	良
	③ 使用する検査用計器が必要な測定範囲及び精度を有し、校正が適切に行われ、有効期限内であることを校正記録により確認する。	記録	良
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-27に示す。			

寸法検査記録

検査年月日 令和 2 年 2 月 25 日

検査場所 N S R R 原子炉施設

検査範囲	「原子炉建家及び排気筒の避雷設備の設置」 その他試験研究用等原子炉の附属施設の構造及び設備のうち その他の主要な事項のうち 原子炉建家及び排気筒の避雷設備		
判定基準		結果	検査方法
a. 原子炉建家の被保護物の外周に沿った部分における引下導線の水平距離が 50m 以内であること。 b. 原子炉建家の非保護範囲部分の各点からむね上げ導体までの水平距離が 10m 以下であること。		良	記録
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-27に示す。			

検査前確認事項

検査年月日 令和 2 年 2 月 25 日

検査場所 N S R R 原子炉施設

検査項目：配置検査

検査範囲	「原子炉建家及び排気筒の避雷設備の設置」 その他試験研究用等原子炉の附属施設の構造及び設備のうち その他の主要な事項のうち 原子炉建家及び排気筒の避雷設備		
	確認事項	確認方法	結果
	① 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	記録	良
	② 必要な図面等が準備されていることを確認する。	記録	良
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-27に示す。			

配置検査記録

検査年月日 令和 2 年 2 月 25 日

検査場所 N S R R 原子炉施設

検査範囲	「原子炉建家及び排気筒の避雷設備の設置」 その他試験研究用等原子炉の附属施設の構造及び設備のうち その他の主要な事項のうち 原子炉建家及び排気筒の避雷設備		
判定基準		結果	検査方法
避雷設備が使用前検査要領書の添付資料-2 表2、図2-1、図2-2、図2-3及び図2-4の位置に配置されていること。		良	記録
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-27に示す。			

検査前確認事項

検査年月日 令和 2 年 2 月 25 日
 検査場所 N S R R 原子炉施設

検査項目：外観検査

検査範囲	「原子炉建家及び排気筒の避雷設備の設置」 その他試験研究用等原子炉の附属施設の構造及び設備のうち その他の主要な事項のうち 原子炉建家及び排気筒の避雷設備		
	確認事項	確認方法	結果
	① 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	記録	良
	② 必要な図面等が準備されていることを確認する。	記録	良
<p>備考</p> <p>本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-27に示す。</p>			

外観検査記録

検査年月日 令和 2 年 2 月 25 日

検査場所 N S R R 原子炉施設

検査範囲	<p>「原子炉建家及び排気筒の避雷設備の設置」</p> <p>その他試験研究用等原子炉の附属施設の構造及び設備のうち</p> <p>その他の主要な事項のうち</p> <p style="text-align: center;">原子炉建家及び排気筒の避雷設備</p>		
	判定基準	結果	検査方法
	原子炉建家のむね上げ導体の上端部から、排気筒については突針部の先端から、保護角 60° 以内に入るように設置されていること。	良	記録
<p>備考</p> <p>本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-27に示す。</p>			

検査前確認事項

検査年月日 令和 2 年 2 月 25 日

検査場所 N S R R 原子炉施設

検査項目：性能検査

検査範囲	<p>「原子炉建家及び排気筒の避雷設備の設置」 その他試験研究用等原子炉の附属施設の構造及び設備のうち その他の主要な事項のうち 原子炉建家及び排気筒の避雷設備</p>		
	確認事項	確認方法	結果
	① 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	記録	良
	② 必要な図面等が準備されていることを確認する。	記録	良
	③ 使用する検査用計器が必要な測定範囲及び精度を有し、校正が適切に行われ、有効期限内であることを校正記録により確認する。	記録	良
<p>備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-27に示す。</p>			

性能置検査記録

検査年月日 令和 2 年 2 月 25 日

検査場所 N S R R 原子炉施設

検査範囲	「原子炉建家及び排気筒の避雷設備の設置」 その他試験研究用等原子炉の附属施設の構造及び設備のうち その他の主要な事項のうち 原子炉建家及び排気筒の避雷設備		
	判定基準	結果	検査方法
	接地極の各接地抵抗値が使用前検査要領書の添付資料-2 表 2に示す値であること。	良	立会

備考

本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-27に示す。

立会検査記録

	接地極	単独接地抵抗		総合接地抵抗	
		判定基準	測定値	判定基準	測定値
原子炉建家	北側	50Ω以下	26.0 Ω	10Ω以下	5.4 Ω
	南側	50Ω以下	17.6 Ω		
排気筒	1か所			10Ω以下	3.6 Ω

検査前確認事項

検査年月日 令和 2 年 2 月 25 日

検査場所 N S R R 原子炉施設

検査項目：風量検査

検査範囲	<p>「照射物管理棟給排気設備の設置」 放射線廃棄物の廃棄施設の構造及び設備のうち 気体廃棄物の廃棄設備のうち 照射物管理棟の給排気設備</p>		
	確認事項	確認方法	結果
	① 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	記録	良
	② 必要な図面等が準備されていることを確認する。	記録	良
	③ 使用する検査用計器が必要な測定範囲及び精度を有し、校正が適切に行われ、有効期限内であることを校正記録により確認する。	記録	良
<p>備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-27に示す。</p>			

風量検査記録

検査年月日 令和 2 年 2 月 25 日

検査場所 N S R R 原子炉施設

検査範囲	「照射物管理棟給排気設備の設置」 放射性廃棄物の廃棄施設の構造及び設備のうち 気体廃棄物の廃棄設備のうち 照射物管理棟の給排気設備		
判定基準		結果	検査方法
照射物管理棟排気設備の風量が 1800 m ³ /h 以上であること。		良	記録
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-27に示す。			

検査前確認事項

検査年月日 令和 2 年 2 月 25 日

検査場所 N S R R 原子炉施設

検査項目：捕集効率確認検査

検査範囲	「照射物管理棟給排気設備の設置」 放射性廃棄物の廃棄施設の構造及び設備のうち 気体廃棄物の廃棄設備のうち 照射物管理棟の給排気設備		
	確認事項	確認方法	結果
	① 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	記録	良
	② 必要な図面等が準備されていることを確認する。	記録	良
	③ 使用する検査用計器が必要な測定範囲及び精度を有し、校正が適切に行われ、有効期限内であることを校正記録により確認する。	記録	良
備考	本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-27に示す。		

捕集効率確認検査記録

検査年月日 令和 2 年 2 月 25 日

検査場所 N S R R 原子炉施設

検査範囲	「照射物管理棟給排気設備の設置」 放射性廃棄物の廃棄施設の構造及び設備のうち 気体廃棄物の廃棄設備のうち 照射物管理棟の給排気設備		
判定基準		結果	検査方法
照射物管理棟排気設備の高性能フィルタの捕集効率が90%以上であること。		良	記録
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-27に示す。			

検査前確認事項

検査年月日 令和 2 年 2 月 25 日

検査場所 N S R R 原子炉施設

検査項目：系統確認検査

検査範囲	<p style="text-align: center;">「照射物管理棟給排気設備の設置」 放射性廃棄物の廃棄施設の構造及び設備のうち 気体廃棄物の廃棄設備のうち 照射物管理棟の給排気設備</p>		
	確認事項	確認方法	結果
	① 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	記録	良
	② 必要な図面等が準備されていることを確認する。	記録	良
<p>備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-27に示す。</p>			

系統確認検査記録

検査年月日 令和 2 年 2 月 25 日

検査場所 N S R R 原子炉施設

検査範囲	「照射物管理棟給排気設備の設置」 放射性廃棄物の廃棄施設の構造及び設備のうち 気体廃棄物の廃棄設備のうち 照射物管理棟の給排気設備		
	判定基準	結果	検査方法
	① 照射物管理棟給排気設備の系統が、使用前検査要領書の添付資料-2 表 3、図 3-2 及び図 3-3 のとおりであること。	良	立会/記録
	② 照射物管理棟給排気設備の自動ダンパの逆流防止機能及び送風機の単独運転防止機能が使用前検査要領書の添付資料-2 表 3 及び図 3-2 のとおりであること。	良	記録
備考 立会確認箇所を添付図-1、本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-27に示す。			

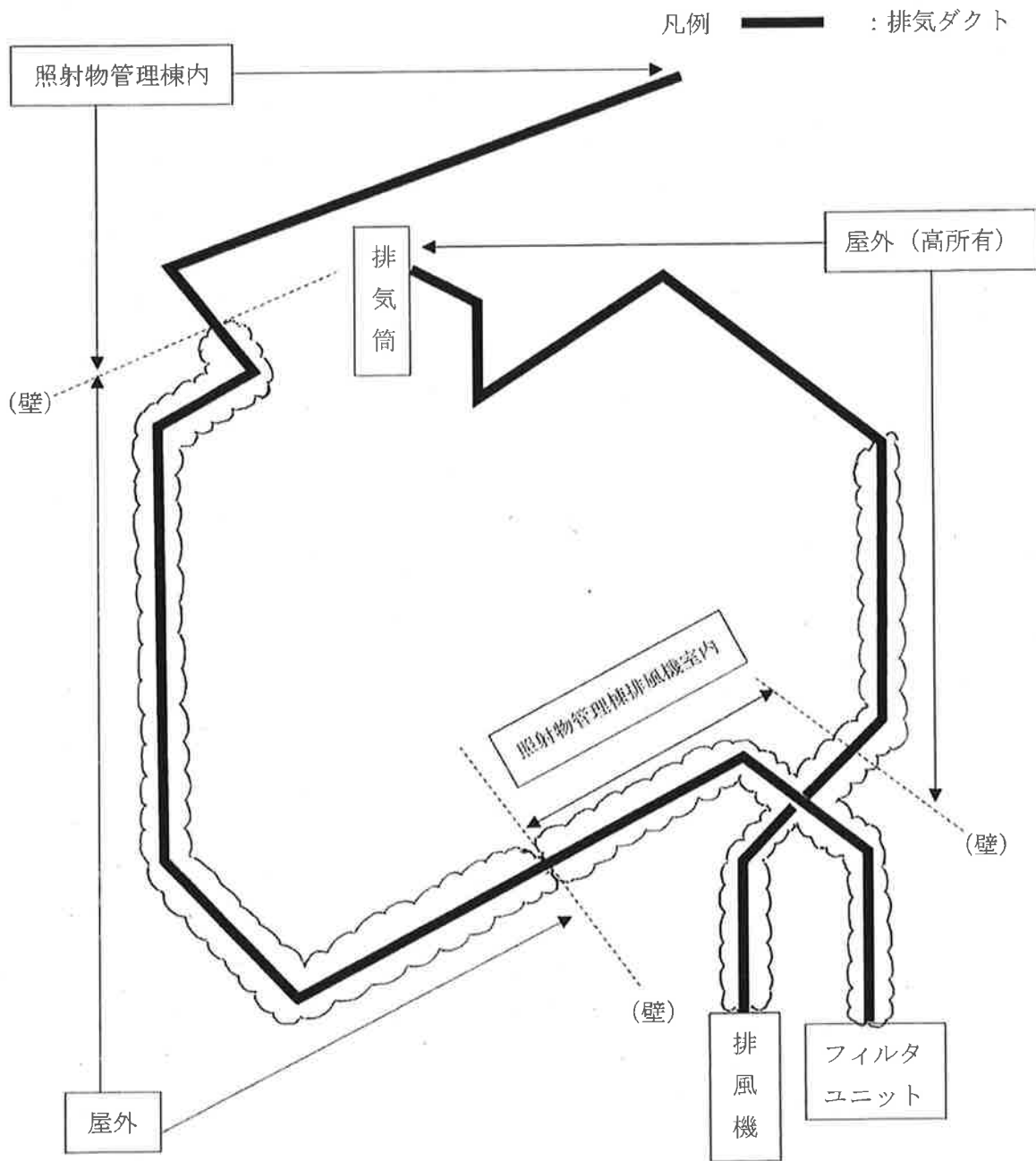



図 3-3 照射物管理棟 排気系統ダクト アイソメ図

 立会確認箇所を示す。

検査前確認事項

検査年月日 令和 2年 2月 25日

検査場所 N S R R 原子炉施設

検査項目：員数検査

検査範囲	「外部消火栓の設置」 その他試験研究用等原子炉の附属施設の構造及び設備のうち その他の主要な事項のうち 消火設備のうち 外部消火栓		
	確認事項	確認方法	結果
	① 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	記録	良
	② 必要な図面等が準備されていることを確認する。	記録	良
<p>備考</p> <p>本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-27に示す。</p>			

員数検査記録

検査年月日 令和 2 年 2 月 25 日

検査場所 N S R R 原子炉施設

検査範囲	「外部消火栓の設置」 その他試験研究用等原子炉の附属施設の構造及び設備のうち その他の主要な事項のうち 消火設備のうち 外部消火栓														
判定基準		結果	検査方法												
外部消火栓の位置及び数量が使用前検査要領書の添付資料-2表4及び図4-1のとおり配置されていること。		備考参照	立会												
備考															
本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-27に示す。															
立会検査記録															
<table border="1" data-bbox="319 1176 1276 1366"> <thead> <tr> <th data-bbox="319 1176 651 1227">種類</th> <th data-bbox="651 1176 963 1227">位置</th> <th data-bbox="963 1176 1276 1227">数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="319 1227 651 1272">消火栓①</td> <td data-bbox="651 1227 963 1272">良</td> <td data-bbox="963 1227 1276 1272">良</td> </tr> <tr> <td data-bbox="319 1272 651 1317">消火栓②</td> <td data-bbox="651 1272 963 1317">良</td> <td data-bbox="963 1272 1276 1317">良</td> </tr> <tr> <td data-bbox="319 1317 651 1366">消火栓③</td> <td data-bbox="651 1317 963 1366">良</td> <td data-bbox="963 1317 1276 1366">良</td> </tr> </tbody> </table>				種類	位置	数量	消火栓①	良	良	消火栓②	良	良	消火栓③	良	良
種類	位置	数量													
消火栓①	良	良													
消火栓②	良	良													
消火栓③	良	良													
空欄には検査結果である良否を記載すること。															

検査前確認事項

検査年月日 令和 2 年 2 月 26 日

検査場所 N S R R 原子炉施設

検査項目：性能検査

検査範囲	<p>「管理区域外への漏えい防止対策」</p> <p>試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち</p> <p>その他の主要な構造のうち</p> <p>床ドレン</p> <p>原子炉冷却系統施設の構造及び設備のうち</p> <p>その他主要な事項のうち</p> <p>オーバーフローライン</p> <p>放射性廃棄物の廃棄施設の構造及び設備のうち</p> <p>液体廃棄物の廃棄設備のうち</p> <p>原子炉建屋ドレンタンク</p> <p>機械棟水処理室</p> <p>制御棟サンプ及びサンプポンプ</p> <p>燃料棟サンプ及びサンプポンプ</p>		
	確認事項	確認方法	結果
	① 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	記録	良
	② 必要な図面等が準備されていることを確認する。	記録	良
	③ 使用する検査用計器が必要な測定範囲及び精度を有し、校正が適切に行われ、有効期限内であることを校正記録により確認する。	記録	良
<p>備考</p> <p>本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-27に示す。</p>			

性能検査記録

検査年月日 令和 2 年 2 月 26 日

検査場所 N S R R 原子炉施設

検査範囲	<p>「管理区域外への漏えい防止対策」</p> <p>試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち その他の主要な構造のうち 床ドレン</p> <p>原子炉冷却系統施設の構造及び設備のうち その他主要な事項のうち オーバーフローライン</p> <p>放射性廃棄物の廃棄施設の構造及び設備のうち 液体廃棄物の廃棄設備のうち 原子炉建屋ドレンタンク 機械棟水処理室 制御棟サンプ及びサンプポンプ 燃料棟サンプ及びサンプポンプ</p>	
判定基準	結果	検査方法
放射性廃棄物の廃棄施設の水処理室が使用前検査要領書の添付資料-2 表5、図5-1及び図5-2の容量を満たしていること。	良	記録
制御棟サンプポンプが制御棟サンプ水位 0.8 m 以下で自動起動すること。	良	記録
燃料棟サンプポンプが燃料棟サンプ水位 0.9 m 以下で自動起動すること。	良	記録
<p>備考</p> <p>本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-27に示す。</p>		

検査前確認事項

検査年月日 令和 2 年 2 月 26 日
 検査場所 N S R R 原子炉施設

検査項目：設計変更の生じた構築物等に対する適合性確認結果の検査

検査範囲	<p>「原子炉建家、照射物管理棟及び機械棟排風機室の保管廃棄施設の設置」 放射性廃棄物の廃棄施設の構造及び設備のうち、固体廃棄物の廃棄設備のうち、原子炉建家、照射物管理棟及び機械棟排風機室の保管廃棄施設</p> <p>「原子炉建家及び排気筒の避雷設備の設置」 その他試験研究用等原子炉の附属施設の構造及び設備のうち、その他の主要な事項のうち、原子炉建家及び排気筒の避雷設備</p> <p>「照射物管理棟給排気設備の設置」 放射性廃棄物の廃棄施設の構造及び設備のうち、気体廃棄物の廃棄設備のうち、照射物管理棟の給排気設備</p> <p>「外部消火栓の設置」 その他試験研究用等原子炉の附属施設の構造及び設備のうち、その他の主要な事項のうち、消火設備のうち、外部消火栓</p> <p>「管理区域外への漏えい防止対策」 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち、その他の主要な構造のうち、床ドレン</p> <p>原子炉冷却系統施設の構造及び設備のうち、その他主要な事項のうち、オーバーフローライン</p> <p>放射性廃棄物の廃棄施設の構造及び設備のうち、液体廃棄物の廃棄設備のうち、原子炉建屋ドレンタンク、機械棟水処理室、制御棟サンプ及びサンプポンプ、燃料棟サンプ及びサンプポンプ</p>		
	確認事項	確認方法	結果
	① 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	記録	良
	② 必要な図面等が準備されていることを確認する。	記録	良
<p>備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-27に示す。</p>			

設計変更の生じた構築物等に対する適合性確認結果の検査記録

検査年月日 令和 2 年 2 月 26²⁵ 日

検査場所 N S R R 原子炉施設

<p>検査範囲</p>	<p>「原子炉建家、照射物管理棟及び機械棟排風機室の保管廃棄施設の設置」 放射性廃棄物の廃棄施設の構造及び設備のうち、固体廃棄物の廃棄設備のうち、原子炉建家、照射物管理棟及び機械棟排風機室の保管廃棄施設</p> <p>「原子炉建家及び排気筒の避雷設備の設置」 その他試験研究用等原子炉の附属施設の構造及び設備のうち、その他の主要な事項のうち、原子炉建家及び排気筒の避雷設備</p> <p>「照射物管理棟給排気設備の設置」 放射性廃棄物の廃棄施設の構造及び設備のうち、気体廃棄物の廃棄設備のうち、照射物管理棟の給排気設備</p> <p>「外部消火栓の設置」 その他試験研究用等原子炉の附属施設の構造及び設備のうち、その他の主要な事項のうち、消火設備のうち、外部消火栓</p> <p>「管理区域外への漏えい防止対策」 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち、その他の主要な構造のうち、床ドレン</p> <p>原子炉冷却系統施設の構造及び設備のうち、その他主要な事項のうち、オーバーフローライン</p> <p>放射性廃棄物の廃棄施設の構造及び設備のうち、液体廃棄物の廃棄設備のうち、原子炉建屋ドレンタンク、機械棟水処理室、制御棟サンプ及びサンプポンプ、燃料棟サンプ及びサンプポンプ</p>	
<p>判定基準</p>	<p>結果</p>	<p>検査方法</p>
<p>設工認申請書に従って行われ、下記の性能の技術基準に適合していること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地震による損傷防止（第7条第1項） ・外部からの衝撃による損傷の防止（第9条第1項及び第2項） ・換気設備（第13条第1項第1号、第2号、第3号及び第4号） ・溢水による損傷の防止（第17条第2項） ・廃棄物処理設備（第33条第1項第1号、第3号、第4号及び第5号） ・保管廃棄設備（第34条第1項第1号及び第2項） 	<p>良</p>	<p>記録</p>
<p>備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-27に示す。</p>		

検査前確認事項

検査年月日 令和 2 年 2 月 25 日

検査場所 N S R R 原子炉施設

検査項目：品質管理の方法等に関する検査

検査範囲	<p>「原子炉建家、照射物管理棟及び機械棟排風機室の保管廃棄施設の設置」 放射性廃棄物の廃棄施設の構造及び設備のうち、固体廃棄物の廃棄設備のうち、原子炉建家、照射物管理棟及び機械棟排風機室の保管廃棄施設</p> <p>「原子炉建家及び排気筒の避雷設備の設置」 その他試験研究用等原子炉の附属施設の構造及び設備のうち、その他の主要な事項のうち、原子炉建家及び排気筒の避雷設備</p> <p>「照射物管理棟給排気設備の設置」 放射性廃棄物の廃棄施設の構造及び設備のうち、気体廃棄物の廃棄設備のうち、照射物管理棟の給排気設備</p> <p>「外部消火栓の設置」 その他試験研究用等原子炉の附属施設の構造及び設備のうち、その他の主要な事項のうち、消火設備のうち、外部消火栓</p> <p>「管理区域外への漏えい防止対策」 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち、その他の主要な構造のうち、床ドレン 原子炉冷却系統施設の構造及び設備のうち、その他主要な事項のうち、オーバーフローライン</p> <p>放射性廃棄物の廃棄施設の構造及び設備のうち、液体廃棄物の廃棄設備のうち、原子炉建屋ドレンタンク、機械棟水処理室、制御棟サンプ及びサンプポンプ、燃料棟サンプ及びサンプポンプ</p>		
	確 認 事 項	確認方法	結果
	法令、規格、設工認申請書、申請者の規程類、申請者の品質記録及びエビデンスが準備されていることを確認する。	記録	良
<p>備 考</p> <p>本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-27に示す。</p>			

品質管理の方法等に関する検査記録

検査年月日 令和 2 年 2 月 25 日

検査場所 NSRR 原子炉施設

<p>検査範囲</p>	<p>「原子炉建家、照射物管理棟及び機械棟排風機室の保管廃棄施設の設置」 放射性廃棄物の廃棄施設の構造及び設備のうち、固体廃棄物の廃棄設備のうち、原子炉建家、照射物管理棟及び機械棟排風機室の保管廃棄施設</p> <p>「原子炉建家及び排気筒の避雷設備の設置」 その他試験研究用等原子炉の附属施設の構造及び設備のうち、その他の主要な事項のうち、原子炉建家及び排気筒の避雷設備</p> <p>「照射物管理棟給排気設備の設置」 放射性廃棄物の廃棄施設の構造及び設備のうち、気体廃棄物の廃棄設備のうち、照射物管理棟の給排気設備</p> <p>「外部消火栓の設置」 その他試験研究用等原子炉の附属施設の構造及び設備のうち、その他の主要な事項のうち、消火設備のうち、外部消火栓</p> <p>「管理区域外への漏えい防止対策」 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち、その他の主要な構造のうち、床ドレン 原子炉冷却系統施設の構造及び設備のうち、その他主要な事項のうち、オーバーフローライン</p> <p>放射性廃棄物の廃棄施設の構造及び設備のうち、液体廃棄物の廃棄設備のうち、原子炉建屋ドレンタンク、機械棟水処理室、制御棟サンプ及びサンプポンプ、燃料棟サンプ及びサンプポンプ</p>
<p>判定基準</p>	<p>検査結果</p>
<p>工事及び検査に係る保安活動が、設工認申請書に定められた品質管理の方法等に関する事項に従って行われていること。</p>	<p>良</p>
<p>総合所見</p>	<p>当該工事及び検査に係る保安活動が、事業者の定める保安品質保証計画書に従って実施されていることを確認した。</p>
<p>品質管理の方法等に関する</p>	<p>1 品質保証の実施に係る組織 ・工事及び検査に係る必要な人的資源、インフラストラクチャー及び作業環境が確保され、申請者部門間及び調達先との間の責任及び権限が明確にされ、体制の構築、情報伝達等が設工認申請書に従って行われていることを確認した。 ・供給者の選定や管理が設工認申請書に従って行われていることを確認した。</p> <p>2 保安活動の計画 ・工事及び検査に係る法令、仕様等の要求事項及び①の組織体制等が申請者関係部門及び供給者に明確にされ、対象設備について全体工程や各工程段階における監視、測定、検証、妥当性確認、試験及び検査が漏れなく実施されるよう計画（手順や合</p>

	<p>否判定基準を含む。)が定められていることを確認した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①の供給者(調達物品や役務を含む。)の管理方法についても設工認申請書に従って定められていることを確認した。
	<p>3 保安活動の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 工事及び検査が②の計画に従って漏れなく実施されていることを確認した。また、調達物品や役務に係る各工程段階における監視、測定、検証、妥当性確認、試験及び検査についても設工認申請書に従って行われていることを確認した。
	<p>4 保安活動の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 調達物品や役務、原子力施設が要求事項に適合していることを実証するため、②の計画に従って漏れなく監視、測定、試験及び検査が行われていることを評価していることを確認した。また、不適合が発生した場合の処置、供給者から申請者への報告についても②の計画に従って行われていることを確認した。
	<p>5 保安活動の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 予防処置又は不適合に対する是正処置を通じて、品質管理の方法等の継続的改善が実施されていることを確認した。
<p>備考</p> <p>本検査で確認した申請者の記録等を別紙-27に示す。</p>	

検査用計器一覧表

検査年月日 令和 2 年 2 月 25 日

検査場所 N S R R 原子炉施設

検査項目	機器名称	計器番号	測定範囲	精度	校正年月日	備考
					校正有効期限	
性能検査	接地抵抗計	NS084	0~20.00Ω	±1.5%rdg. ±8dgt.	2019.12.6	
			0~200.0Ω	±1.5%rdg. ±4dgt.	2020.12.5	

記録一覧表

検査年月日：令和2年2月26日

検査場所：NSRR 原子炉施設

No.	確認した書類の名称	文書番号、制定年月日等	備考*
品質管理の方法等に関する検査			
1	原子力科学研究所原子炉施設及び核燃料物質等使用施設品質保証計画書	QS-P10 平成30年7月18日	(品)
2	研究炉加速器技術部教育・訓練管理要領	(科研)QAM-620 平成31年3月15日	(品)
3	保安活動に従事する者の力量評価表 (NSRR 管理課)	(科研)QAM-620 様式 1-4	(品)
4	保安活動に従事する者の力量評価表 (工務第1課)	(科工)QAM-620 様式 1-8-1	(品)
5	研究炉加速器技術部業務の計画及び実施に関する要領	(科研)QAM-710 令和元年12月4日	(品)
6	廃棄物保管場所等の設計及び工事の方法の認可申請に係る業務の計画	(科研N)QAM-710-021 令和元年10月7日 令和元年12月12日 令和2年1月9日	(品)
7	研究炉加速器技術部設計・開発管理要領	(科研)QAM-730 令和元年9月2日	(品)
8	設計管理計画	(科研)QAM-730 様式 3-1 廃棄物保管場所等の設計及び工事の方法の認可申請	(品)
9	設計要求の適切性評価記録	(科研)QAM-730 様式 3-2 廃棄物保管場所等の設計及び工事の方法の認可申請	(品)
10	設計要求と設計結果の対比の記録	(科研)QAM-730 様式 3-3 廃棄物保管場所等の設計及び工事の方法の認可申請	(品)
11	設計の検証の記録	(科研)QAM-730 様式 3-4 廃棄物保管場所等の設計及び工事の方法の認可申請	(品)
12	設計の変更の記録	(科研)QAM-730 様式 3-5 廃棄物保管場所等の設計及び工事の方法の認可申請	(品)
13	NSRR 課内技術検討会の運営要領	(科研N)QAM-550-001 令和元年9月30日	(品)
14	NSRR 管理課 課内技術検討会議事録	(科研N)QAM-550-001 様式 1 令和2年1月10日	(品)
15	研究炉加速器技術部部内安全審査会運営要領	(科研)QAM-550 平成31年2月6日	(品)
16	研究炉加速器技術部 部内安全審査会議事録	令和元年度第14回 令和元年度第19回 令和元年度第22回	(品)

No.	確認した書類の名称	文書番号、制定年月日等	備 考*
17	研究炉加速器技術部 部内安全 審査会(諮問及び答申)	(科研)QAM-550 様式1 令和元年度第14回 令和元年度第19回 令和元年度第22回	(品)
18	原子炉施設等安全審査委員会規 則	(科)QAM-550 平成31年4月1日	(品)
19	原子炉施設等安全審査委員会 安全審査手続票	(科研)QAM-550 様式4 第178回 第181回 第182回	(品)
20	原子炉施設等安全審査委員会 議事録	第178回 第181回 第182回	(品)
21	答申書	(科)QAM-550 様式1 審議番号(178-1、181-3、 182-1)	(品)
22	研究炉加速器技術部使用前検査 対応要領	(科研)QAM-820-004 平成30年4月1日	(品)
23	工務技術部試験・検査の管理 要領	(科工)QAM-820 平成30年4月1日	(品)
24	NSRR 特定施設運転手引	(科工)QAM-710-105 令和元年11月1日	(品)
25	原子力科学研究所調達管理要 領	(科) QAM-740 令和元年8月5日	(品)
26	調達要求事項の確認	(科) QAM-740 様式1	(品)
27	引合先の評価・再評価票	(科) QAM-740 様式2	(品)
28	一般検査完了通知書	—	(品)
29	保安教育訓練実施報告書(NSRR 管理課) ・事業者検査要領書の制定に 伴う教育	令和2年2月18日 令和2年2月19日	(品)
30	保安教育訓練実施報告書(工務 第1課) ・使用前検査に係る事業者検 査要領書の制定に伴う教育	令和2年2月14日 令和2年2月25日	(品)
測定機器に関する書類			
31	研究炉加速器技術部監視機器及 び測定機器の管理要領	(科研)QAM-760 平成30年9月14日	(性)(寸)
32	測定機器管理台帳	金属製直尺(NS012) 接地抵抗計(NS084) 鋼製巻尺(NS085) 巻尺(NS086) ノギス(NS065) ストップウォッチ(NS013)	(性)(寸)(外)(適)

No.	確認した書類の名称	文書番号、制定年月日等	備考*
33	校正証明書	熱式風速計 (6114) 光散乱式自動粒子計数器 (KC-22B)	(風)(捕)(適)
34	試験成績書	コンベックス (工 NS-01 測)	(適)(系)
原子炉建家、照射物管理棟及び機械棟排風機室の保管廃棄施設の設置			
35	原子炉建家、照射物管理棟及び 機械棟排風機室の保管廃棄施設 の設置 事業者検査要領書 (NSRR 管理課)	(科研 N) QAM-820-015 令和 2 年 2 月 17 日	(品)(保)(適)
36	事業者検査記録 (NSRR 管理課)	上記要領の記録 保管能力検査 保安規定その他下部要領の 確認検査	(品)(保)(適)
37	原子炉建家、照射物管理棟及び 機械棟排風機室の保管廃棄施設 の設置 事業者検査 写真記録 (NSRR 管理課)	—	(保)(適)
38	廃棄物保管場所保管数量管理表	(科研 N) QAM-710-013 様 式 9	(適)
39	原子力科学研究所 原子炉施設 保安規定(第 2 編、第 7 編)	平成 30 年 12 月 26 日	(適)
40	NSRR 本体施設運転手引	(科研) QAM-710-005 令和 2 年 2 月 7 日	(適)
41	原子力科学研究所放射線安全取 扱手引	(科) QAM-711 令和 2 年 1 月 1 日	(適)
42	廃棄物保管場所における固体廃 棄物保管廃棄記録票	(科) QAM-711 様式 8-10 封入年月日： 令和元年 8 月 8 日	(適)
原子炉建家及び排気筒の避雷設備の設置			
43	原子炉建家及び排気筒の避雷設 備の設置 事業者検査要領書 (NSRR 管理課)	(科研 N) QAM-820-016 令和 2 年 2 月 17 日	(品)(寸)(配)(外) (性)(適)
44	事業者検査記録 (NSRR 管理課)	上記要領の記録 寸法検査 配置検査 外観検査 性能検査	(品)(寸)(配)(外) (性)(適)
45	原子炉建家及び排気筒の避雷設 備の設置 事業者検査 写真記 録 (NSRR 管理課)	—	(寸)(配)(性)(適)
照射物管理棟給排気設備の設置			
46	使用前検査に係る事業者検査 要領書 (工務第 1 課)	令和 2 年 2 月 13 日	(品)(風)(捕)(系) (適)
47	使用前検査に係る事業者検査 記録 (工務第 1 課)	上記要領の記録 風量検査 捕集効率確認検査	(品)(風)(捕)(系) (適)

No.	確認した書類の名称	文書番号、制定年月日等	備考*
		系統確認検査 設計変更の生じた構築物等 に対する適合性確認結果の 検査	
48	NSRR 特定施設の施設定期自主 検査要領書	(科工1) QAM-710-403 令和元年5月1日	(風)(捕)
49	NSRR 特定施設の施設定期自主 検査記録	上記要領の記録 風量検査 捕集効率確認検査	(風)(捕)
50	使用前検査に係る事業者検査 要領書(工務第1課)	令和2年2月25日	(品)(適)
51	使用前検査に係る事業者検査 記録(工務第1課)	上記要領の記録 設計変更の生じた構築物等 に対する適合性確認結果の 検査	(品)(適)
52	燃料棟排気筒モニタの記録紙	令和2年2月25日	(適)
外部消火栓の設置			
53	外部消火栓の設置 事業者検査 要領書(NSRR 管理課)	(科研N)QAM-820-017 令和2年2月17日	(品)(員)(適)
54	事業者検査記録 (NSRR 管理課)	上記要領の記録 員数検査 外部火災に関連する書類の 確認検査	(品)(員)(適)
55	外部消火栓の設置 写真記録 (NSRR 管理課)	—	(員)(適)
56	NSRR 管理課 課内技術検討会議 事録	(科研N)QAM-550-001 様式1 平成29年6月1日 平成29年6月12日 平成29年9月1日 平成29年10月4日 平成29年10月12日 平成29年12月1日 平成29年12月19日	(適)
57	研究炉加速器技術部 部内安全 審査会議事録	平成29年度第4回 平成29年度第15回 平成29年度第18回 平成29年度第23回 平成29年度第26回	(適)
58	原子炉施設等安全審査委員会 議事録	第129回 第135回 第138回 第140回 第142回	(適)
59	原子力科学研究所 原子炉施設 保安規定(第7編)	平成30年12月26日	(適)

No.	確認した書類の名称	文書番号、制定年月日等	備考*
管理区域外への漏えい防止対策			
60	管理区域外への漏えい防止対策 事業者検査要領書 (NSRR 管理課)	(科研 N)QAM-820-018 令和 2 年 2 月 17 日	(品)(性)(適)
61	事業者検査記録 (NSRR 管理課)	上記要領の記録 性能検査 外観検査 寸法検査	(品)(性)(適)
62	管理区域外への漏えい防止対策 写真記録 (NSRR 管理課)	—	(性)(適)
63	竣工図	原子炉プール廻り詳細図 図面番号: CA-2003 NSRR 使用済燃料貯留プール組立図 図面番号: 108-001 プールライニング貫通配管 ノズル詳細図 図面番号: TTK-5458-1	(適)
64	使用前検査に係る事業者検査 要領書 (工務第 1 課)	令和 2 年 2 月 13 日	(品)(性)(適)
65	使用前検査に係る事業者検査 記録 (工務第 1 課)	上記要領の記録 性能検査 設計変更の生じた構築物等 に対する適合性確認結果の 検査	(品)(性)(適)

*備考欄の記載について

(保) : 保管能力検査、(寸) : 寸法検査、(配) : 配置検査、(外) : 外観検査、(性) 性能検査、(風) : 風量検査、(捕) : 捕集効率確認検査、(系) : 系統確認検査、(員) : 員数検査、(適) : 設計変更の生じた構築物等に対する適合性確認結果の検査、(品) : 品質管理の方法等に関する検査